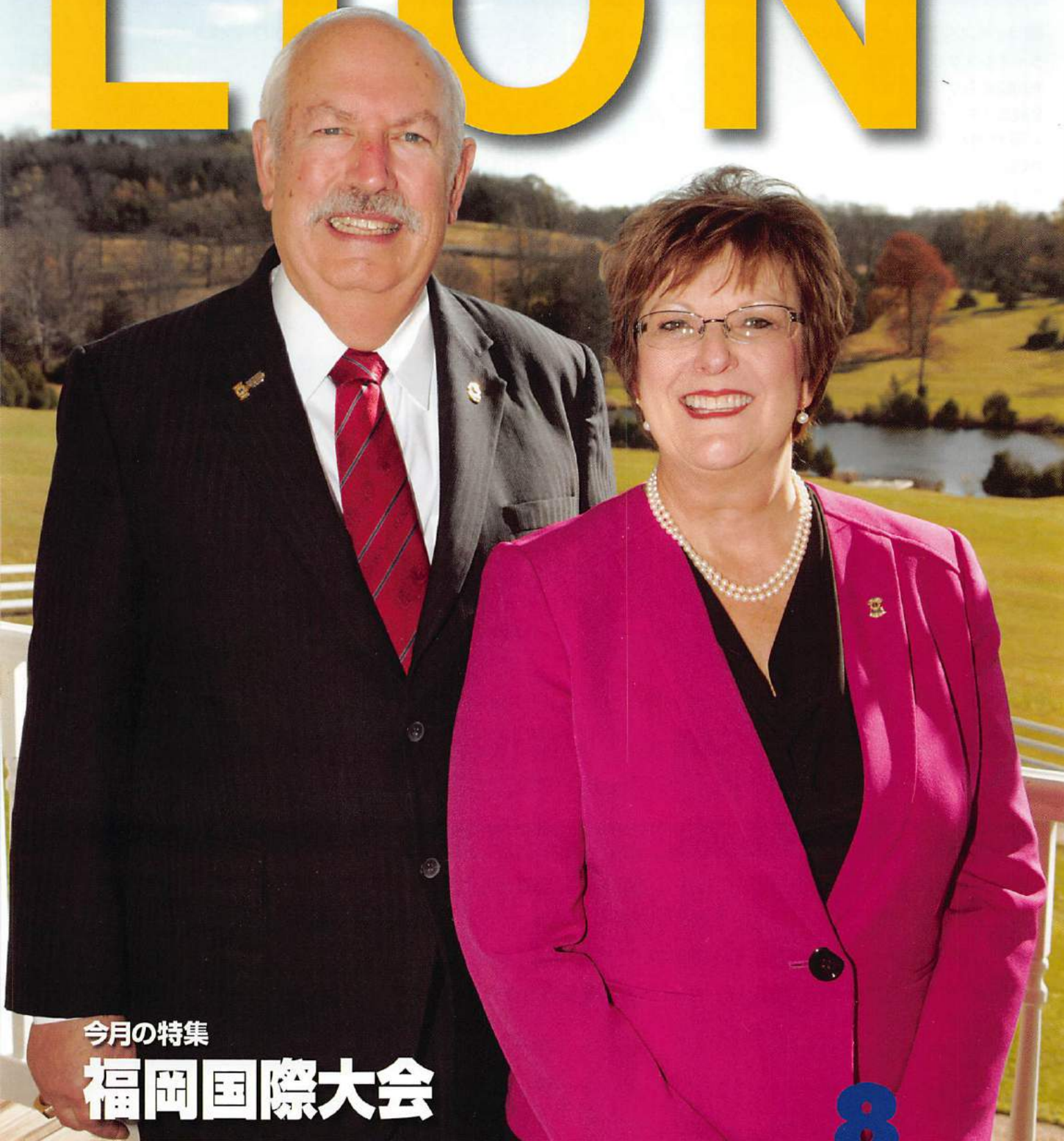


LION



今月の特集

福岡国際大会

8



IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

August 2016 WWW.THELION-MAG.JP

ライオン誌(毎月20日発行)第56巻第2号 2016年7月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書

●ライオンズ新書01 『ライオンズ力を高める』 第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。
新書判 224ページ
1部500円・送料実費



●ライオンズ新書02 『LCIF早分かり』 第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。
新書判 184ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引：100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

●大口注文割引：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

ライオンズスクール・シリーズ

●初級編『ライオンズクラブ入門』 第3版第5刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●上級編『リーダーシップを養う』 第1版第5刷

国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料(組み合わせは問いません)。※ただし、急ぎの場合は実費請求
■お申し込みはEメール(office@thelion.jp)またはファクス(03-6674-8781)でお願いします

ライオン誌日本語版出版物 注文書

- 『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド 部
- 『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド 部
- ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』 部
- ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』 部

地区名 33 -	クラブ名	お名前 (クラブで注文の場合は不要)
ご住所 〒 -		お電話番号



■2016年8月号
表紙
ボブ・コーリュウ
国際会長夫妻

4 国際会長メッセージ ● 「2017年のパーティーに向けて、発車の準備を整えよう」

5 **特集** ● 福岡国際大会

6月24～28日、福岡市で開催された第99回国際大会の様相を写真と共にレポート。
6：インターナショナル・パレード／12：第99回福岡国際大会点描／15：地区ガバナー・エレクト・セミナー／17：日本語セミナー「会員増強は優れた奉仕を通じて」／22：山田實紘国際会長退任スピーチ

28 国際理事活動報告 ● 「歴史と伝統の上に、未来を模索した2年間」 西川義規

29 2016-17年度国際会長テーマ「次なる山を目指して」
30：次なる山を目指して／31：奉仕の頂点を極める／32：地域社会とつながる／
33：次なる山を越えるためのリーダーシップ／34：新会員の招請でインパクト
を高めチームを築く／35：私の山とあなたの山をつなぐ／35：次なる山、そして
その向こうへ／36：頂上からの眺め

37 ボブ・コーリュウ国際会長プロフィール
「裁判官、国際会長に就任」

41 新国際理事抱負 ● 「身近な存在の国際理事となり更なる国際協会の発展を」 中村泰久

42 山田實紘国際会長広島訪問
「折り鶴に託して被爆地・広島に届けた『命の尊厳と和』の願い」

44 TOPIC1 ● 熊本地震被災地支援
「被災者に笑顔と元気を届けた復興支援コンサート」

46 TOPIC2 ● 熊本地震被災地支援
「福祉避難所を拠点に活動する337-E地区支援隊」

48 Foundation Impact

49 **LIONS NEWS CASSETTE**

49：2016年人道主義大賞は国境なき医師団に／49：福岡国際大会投票結果／
49：2016-17年度国際理事会の構成／50：2016-17年度LCIF理事会の構成／50：
2016-17年度八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議／50：一般社団法人日本ライ
オンズ創立社員総会／50：2015-16年度末世界の会員数／51：2015-16年度末日
本の会員数／51：332-A地区がフードドライブで熊本地震の被災地支援／53：
Touchstone Stories 試金石ストーリー6 「クラブ例会」

54 READERS ROOM
54：読者から／読者プレゼント
55：もう一度読みたい「あの記事」 ● 「会議参加者のタイプ」

56 EDITORS ROOM
56：ライオン誌例会のスヌメ／次号予告
57：編集室 ● 「ライオン誌記事の活用を」 佐藤義則

58 日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President



Chancellor
Bob Corlew
Lions Clubs International
President

2017年のパーティーに向けて、 発車の準備を整えよう

最近、国際本部に、アメリカのキャシー・シングルトンさんからEメールが届きました。ミズーリ州スプリングフィールドの小学1年生だった時、ライオンズクラブに最初の眼鏡を買ってもらったそうです。彼女の文章は雄弁でした。

「その時の喜びを今も覚えています。木の葉の一枚一枚を、私は見分けることが出来たのです。世界が無数の美しさに満ちていることを知り、私の胸は高まりました。あなたが今も同じように、多くの子どもたちに恵みを与えてくださっていることを祈ります」

シングルトンさん、もちろんです。過去100年間そうであったように、私たちは今後の100年間も子どもたち、そして大人たちを支援し続けていくでしょう。創設100周年を迎える今年、私たちは過去を記念すると同時に、この偉大な組織を前進させたいと考えています。

その長い歴史の中で、ライオンズは個々の人々に手を差し伸べるだけでなく、しばしば地域全体にインパクトを及ぼしてきました。1964年に地震と津波がアラスカ州アフォグナックを襲った時には、住民のために新しい町を築きました。その5年前には乾燥したテキサス州の牧草地帯で、日頃から草原の火事に脅かされていた町、リーキーのライオンズが消防車を備えた消防隊を組織しました。かなりさかのぼって1925年には、学校不足に

危機感を募らせたペンシルベニア州ヨークのライオンズが、蔵書を豊富にそろえた移動図書館を始めました。過去1世紀のライオン誌のページは、このように人生を変え、多くは命を守る奉仕の何万という例に満ちています。

創設100周年の奉仕目標は、2018年6月までに1億人以上の人々に奉仕することです。このままのペースで行くと、私たちは目標を突破することが出来そうです。どうか皆さんのクラブでも、「パーティーに参加」してください。また、家族や友人を招いて奉仕を共にし、地域でレガシー・プロジェクトを計画するなど、その他の方法でも100周年を祝賀してください。参加する方法は国際協会の100周年特設ウェブサイト (Lions100.org) で見つかるでしょう。

100代目の国際会長を務めることを、心から光栄に思っています。私たちの崇高な歴史におけるこの特別な瞬間にライオンでいられることに、私と同じ喜びを感じて頂ければ幸いです。将来の世代のために絶えず国際協会を強化し、過去よりも優れたライオンズクラブを残していけば、私たちの今日の奉仕は何十年も先までこだましていくことになるでしょう。

2016-17年度国際会長
ボブ・コーリユー

特集

福岡国際大会

6月24～28日、福岡市で開催された第99回国際大会の様態を写真と共にレポート。

取材／鈴木秀晃、河村智子、井原一樹



福岡国際大会の総会場となった福岡ヤフオク!ドームと、本部ホテルのヒルトン福岡シーホーク













千葉県・松戸中央ライオンズが作ったゆるキャラ「松戸さん」も国際大会へ初参加。パレードでは存在感あふれる声援を送った



今回の国際大会に合わせて、広島から福岡まで平和を訴えて走ったポーランドの「フリーダムチャリティーラン」チーム



国際大会点描

が主宰する第99回ライオンズクラブ国際大会が、福岡市で開催された。



第99回福岡

山田實紘国際会長の誕生に湧いたホノルル国際大会の閉会式から1年、その山田会長



JOY倶楽部ミュージック・アンサンブル (第1回総会)



リーヴァイ・クライスのパフォーマンス (第2回総会)





ライオンズマーケット&フェア



復興支援でつながった沖縄県・八重山ライオンズクラブの協力で、東日本大震災被災地から宮城県・南三陸志津川ライオンズクラブもライオンズマーケットに出店した



大会期間中、岩田屋で開催されたライオンズクラブ100周年展



開会式終了後、ブルーインパルスが会場の上空を飛行。大会シンボルマークを梅雨の合間の青空に描いた

■14年ぶりの日本開催

福岡国際大会は、35年ぶりの国際会長を輩出した日本のライオンズにとって、歴史的な年度を締めくくるとして、ビッグイベント。大会期間中、福岡には約120の国と地域から3万8千人のライオンたちが集った。

大会のオープニングは6月25日、福岡市中央区の明治通りで行われたインターナショナル・パレード。冷泉公園から天神中央公園までの約1.5キロを各国、各地域のメンバー約1万2千人が行進した。福岡市民にもライオンズの存在をアピールする絶好の機会だ。

当初は雨の予想。ホスト委員会は1万枚のレインコートを用意するなど万全の準備でこの日を迎えた。が、至誠天に通ず。雨は一時的にしばらく降る程度で、予定通り10時ちょうどにパレードが始まった。先頭は山田實絨国際会長のホスト国日本。桜色のそろいの法被を着た3千人がパレードを盛り上げた。その後も民族衣装やそろいの服に身を包んだ各国メンバーが明治通りを練り歩く。沿道は見物客で人だかりが出来、通りに面した会社の窓から外をのぞく人の姿も多く見受けられた。

精華女子高等学校吹奏楽部がイン下の、九州産業大学付属九州高校吹

地区ガバナー・エレクト・セミナー

国際大会開会直前の6月22(24日)、地区ガバナー・エレクト(DGE)セミナーが福岡国際センター及びサンパレスを会場に行われた。3日間のDGEセミナーは、全体セッションと国際協会公式言語ごとのクラスに分かれたグループ・ワークショップで構成されている。日本語グループの講師であるグループ・リーダーは城阪勝喜元35複合地区協議会議長が務めた。日本のDGE35人のうち2人が病欠し、33人が地区ガバナー就任を前にした最後の研修に臨んだ。

グループ・ワークショップでは、世界共通のマニュアルに従って地区運営やリーダーとしての技能を学習する。マニュアルにある参考事例やロール・プレイのシナリオの中には日本人の感覚には馴染みにくい部分もあるが、このワークショップで各地区の現状や活動計画なども話し合われ、次年度に向けて情報交換を行う貴重な機会となっている。今回はそうしたディスカッションの中で熊本地震の被災地に対する支援も話題に上り、

現地のニーズに即した支援を行うには、実際に現地に足を運んで視察することが必要だという意見が出された。そうした意見を受けて急ぎよ各DGEが義援金を出し合い、セミナー終了後に有志DGEが南阿蘇村へ義援金を届け、被災地の状況を視察することになった。セミナー2日目の午後には、英語グループとの交流セッションがあり、日本語、英語の双方のグループから代表5人が相互に訪問し合って発表を行った。日本語グル



ープにはアメリカ・ニューヨーク州とイリノイ州のDGE5人が訪問。5人のうち1人は35歳の若いDGE、2人が女性のDGEという構成で、最年少が55歳、女性はゼロという日本のDGEグループとの違いが際立った。発表の後、日本のDGEからアメリカのDGEたちへ、所属クラブの年会費や事業費に関する質問が投げかけられた。それに対して、年会費は75(110^{ドル})で、事業費はクラシックカー・ショーやコンサートなどの資金獲得事業で調達しているという回答があり、日本のDGEからは驚きの声が上がった。一方、日本では年会費千(2千^{ドル})が平均的だと聞かされたイリノイ州の女性DGEからは、「年会費を下げなければ、若い会員を入会させてクラブを持続させていくことは難しいでしょう」という意見が述べられた。

各DGEは次期国際会長の方針や地区運営に学ぶと共に、国内外の仲間から多くの刺激を受けてセミナーを修了した。

奏楽部がバンクラデシユの、社会人マーチングバンド「福岡マーチングバンド」クアトレ・ガッツ」がドイツのチームの一員として参加。軽快な演奏とパフォーマンスで沿道を湧かせていた。

一方で日本のパレードは若干の混乱が起きていたようだ。列が分断されたり、まとまりに欠けたりしていた。人数が多いため致し方ない面もあるが、せっかく人数の面でパレードの盛り上げに貢献しているのに、これでは少々もったいない。大人数で美しく見せるノウハウを早く確立させたいところだ。

その日の夜、福岡ヤフオクドームでインターナショナル・ショーが行われた。最初は2012年のOS EALフォーラムでも会場を魅了したDRUM TAOが登場。迫力満点の和太鼓の響きに合わせて力強く踊る姿が会場を大いに湧かせた。続いて九州交響楽団の演奏。そして谷村新司さんが登場する。アリス時代の名曲「チャンピオン」で登場した谷村さんはその後「英雄」「群青」などのヒット曲を九州交響楽団をバックに歌唱。会場は谷村さんの歌声に聞き入った。「いい日旅立ち」の最中には、観客席へ降りてきた谷村さんを、自撮りをする海外のメンバ



小川洋福岡県知事(開会式)



高島宗一郎福岡市長(開会式)



寛仁親王妃信子殿下(開会式)



開会式で基調講演をするカイラーシュ・サティヤールティー氏

ーが取り囲むというハブニングもあったが、谷村さんは笑顔で歌いきっていた。また、曲紹介は谷村さん自身が英語で行い、海外のメンバーにも分かるような工夫をされていた。

■実りある講演が続く総会に

26日に福岡ヤフオクドームで開かれた第1回総会(開会式)は、インターナショナル・ショーで大迫力のパフォーマンスを見せたDRUM TAOの太鼓でスタートした。山田實紘国際会長が英語で進行をする中、不老安正国際大会ホスト委員長に先導されて寛仁親王妃信子殿下が登壇。その後、高島宗一郎福岡市長(福岡ホストライオンズクラブ)、小川洋福岡県知事がそれぞれ祝辞を述べた。

基調講演はインドの人権活動家で2014年にノーベル平和賞を受賞したカイラーシュ・サティヤールティー氏。サティヤールティー氏は「戦後の日本が世界有数の経済大国へと成長出来たのは教育があったからです」と教育の重要性を説明。韓国やインドの経済成長も教育が幅広く行われるようになったからであり、子どもたちが教育を受けることによって貧困の連鎖から抜け出すことが出来ると説いた。実際に彼の目にした世界中の子どもたちを例にして語

日本語セミナー「会員増強は優れた奉仕を通じて」

6月26日の15時から「会員増強は優れた奉仕を通じて」をテーマに日本語セミナーが実施された。今回は3部構成。最初の講演ではネパール初の国際理事であるサンジュイ・ケタン国際理事が、ゲスト・スピーカーを務めた。ネパールでは2015年・16年度に140以上の新たなクラブが誕生し、5600人以上の会員純増を達成するなど、躍進がめざましい。ケタン国際理事は会員増強のキーは奉仕だとし、「LCIFの支援を受けてさまざまな奉仕を行っています。例えば百日咳のワクチンを配布する奉仕や血液バンクの設立などです。これらの奉仕活動は他の国からすれば必要のないものかもしれませんが、我々の国では必要なものなのです。また、ネパールでの地震の際も1カ月以上支援に入りました」と語った。こうした奉仕活動が市民に対するライオンスの知名度を上げ、他の奉仕団体よりも数が伸びている要因となっているという。日本はネパールよりも大きな国であるため、目標



を持って会員増強に励めば必ず達成出来ると講演を締めくくった。

続いて中村猛35・B地区ガバナーが地区の取り組みについて紹介。家族や女性が活躍出来る場を作ろうとFWT委員会を立ち上げ、レオやYCEのOB会を企画することによって、女性や若い世代にもライオンズを知ってもらおうと取り組んでいる。クラブ支部の結成も促進するなど、さまざまな世代、性別の人が入りやすい環境を整備している。また35・B地区では、アクティビティの刷新を柱として

いる。その一つの例として、南海トラフ地震が起きた場合、津波が到達する幼稚園、保育所を対象にライフジャケットを寄贈した。その後、定期的にライフジャケット装着練習を含めた災害訓練が実施されているという。こうしたアクティビティはライオンズクラブの知名度を上げると共に、会員間の連携や信頼にもつながり、それが会員増強への機運を上げることにも一役買っている。

最後に小川晶子330複合地区FWTコーディネーターが子どもの貧困に対してのFWTの取り組みを紹介。本誌4月号でも特集したが、子どもたちの貧困は深刻な社会問題となっている。この問題に対してライオンズが出来るアプローチを紹介した。

今回の日本語セミナーで紹介された事例はどれも身近な地域社会で必要とされる奉仕だ。こうしたニーズに合った奉仕を行うと、賛同者が得られやすい。そこから会員増強に発展する可能性の高い事例の紹介だった。

られる話は、多くの子どもたちの苦境を伝えるのに十分だった。

氏は「世界をより良い場所にするためには、子どもたちを学校に通わせなければなりません。この20年で小学校に通えない子どもは大きく減少しました。私たちに必要なのは、信念と強力なパートナーシップ、政治的な決断、そして協調して共に歩む方法を見つけ出すことです。私たちにはそれが出来るはずですよ」と呼び掛け、講演を締めくくった。

続いて山田会長の退任あいさつでは、災害や難民に対するライオンズの取り組みを紹介すると共に、LCIFワードなどについても触れられた。スピーチはホノルル国際大会での就任演説同様、派手なパフォーマンスなどは一切なし。だが、メルビン・ジョーンズの言葉と福沢諭吉の言葉を比較するなど、工夫を凝らした演説で、すばらしい内容だったという声があちこちから聞こえた。

その後、福岡にある社会福祉法人JOY明日への息吹が運営するJOY倶楽部ミュージック・アンサンブルが登場。真剣かつ楽しげに演奏する障害者の方々の奏でる音が会場を温かい空気で包み込んだ。

開会式終了後はヤフォクドームの上をブルーインパルスが飛行。上



25日に開催されたソーシャルメディア・セミナー



LCIF交付金に関する日本語セミナー



スターウォーズをモチーフにLCIFの年次報告をするプレストン理事長



閉会式で発表された国際協会100周年記念コインのデザイン



大会センターに、福岡こども病院に入院する子どもたちへのメッセージボードが置かれ、多くの参加者が書き込んでいた



トヨタから新型プリウスが提供され、大会参加者から抽選で奈良県大和郡山ライオンズ3号の中野昌英が当選した



世界中から集まったレオとそのアドバイザーたちが日本文化の体験を通して交流したレオ・ソーシャル



身体の不自由な会員をサポートするホスト委員会メンバー

空で福岡国際大会のシンボルマークである梅の花を描いた。ブルーインパルスがドームの外で待ち、付近の防波堤にも市民が集結。ツイッターでも街中で撮影された画像が拡散されるなどライオンズ以外の人々の話題にも上るイベントとなった。

■100周年を迎えたライオンズ

翌27日に行われた第2回総会ではトニー賞受賞俳優リーヴァイ・クライスのパフォーマンスの後、スター・ウォーズの登場人物オビ・ワン・ケノービに扮したジョー・プレストンLCIF理事長による年次報

告が行われた。LCIFの歴史がスター・ウォーズ風に紹介され、かの有名なセリフ「フォースと共にあれ」で締めくくられた報告に、会場は大いに盛り上がった。

その後、国際理事候補者と国際第2副会長、第3副会長候補者の立会演説会が行われた。国際理事も両副会長候補者も定員ちよほどの立候補。中村泰久国際理事候補者が後藤隆一元国際理事の応援演説を受けて英語で演説すると、会場からは割れんばかりの拍手が巻き起こった。

国際第2、第3副会長を含む執行役員と国際理事の選挙と、国際会則及び付則の改正案の賛否を問う代議



平和ホスター・コンテスト大賞受賞者サイン会

員投票は、大会最終日である28日の午前7時半からマリンメッセ福岡で実施された。前日までに資格証明をした代議員数は4122人。前年のホノルル国際大会が5308人だったことを考えると、代議員登録数は随分減ってしまった。ホノルル国際大会では長い列が出来ていた投票場だが、今年は投票まで5分程度並んだだけだったと話す会員もおり、実際の投票数ほどの程度だったのか気になるところだ。

代議員投票の結果は、その日午前10時から行われた第3回総会（閉会式）で発表され、改正案は全て可決した。国際理事選挙のうち、OSE



スペシャルオリンピックスのアスリートとレオがチームを組んでボッチャを体験

ALからは日本の杉中村泰久（330複合地区）と台湾の蔡マグネット・リン（300複合地区）、韓国のチェジエプン・ユ（356複合地区）の3人が当選。また国際第2副会長には国際協会史上初となる女性のケッドラン・イングバドター元国際理事が、第3副会長には韓国のジュンユル・チョイ元国際理事がそれぞれ選ばれた。

閉会式では、トヨタのプリウスなどが当たる抽選会を実施。翌年のシカゴ国際大会への旅行券、登録料、ホテル代などが含まれた招待券もプレゼントされた。プリウスに当選したのは日本のメンバー。彼が壇上に上がると会場からは羨望と祝福の入



グッドラン・イングバドター国際第2副会長（アイスランド）



マグネット・リン新国際理事（台湾）



ジェブン・ユ新国際理事（韓国）



中村泰久新国際理事（日本）

り混じった拍手が送られた。
 また、この日は西元祐貴さんの墨
 絵パフォーマンスも行われ、白い紙
 に描かれる獅子に会場が沸いた。そ
 の後、ライオンズクラブ100周年
 のカウントダウンを実施。ポップ・コ
 ーリユー新国際会長の声と共にスク
 リーンに映し出された「100」の
 文字に大きな拍手が巻き起こった。
 100周年を記念して作られるコイ
 ンのデザインも併せて発表され、1
 00年という記念すべき年を迎える
 高揚感と、その年月の重みを感じる
 閉会式となった。

■福岡全体がライオンズ歓迎ムード

今大会の登録者数は3万8103
 人に上り、日本2万5038人、韓
 国2346人、ネパール1603人、
 アメリカ1358人、インド126
 1人（大会部6月27日暫定集計）だ
 った。世界各国から参加するメンバ
 ーをもてなそうと、大会ホスト委員
 会は337複合地区を挙げて準備をして
 きた。福岡空港や博多駅、また各会
 場には通訳を伴ったホスト委員会の
 スタッフが待機。海外の参加者が戸
 惑わないように配慮されていた。総
 会の会場も、日ごとにより良い形で
 開催出来るよう改善を重ねた。

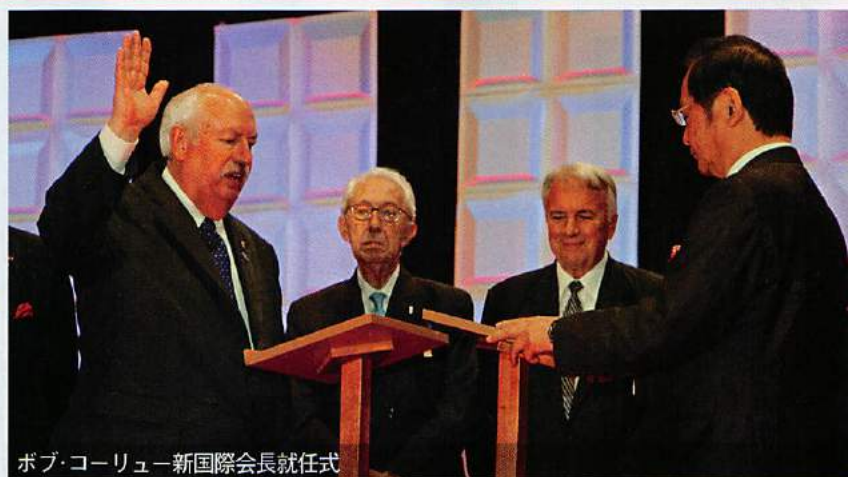
大きな混乱が起ることなく大会



ジュンユル・チョイ 新国際第3副会長（韓国）



2016-17年度地区ガバナー就任式



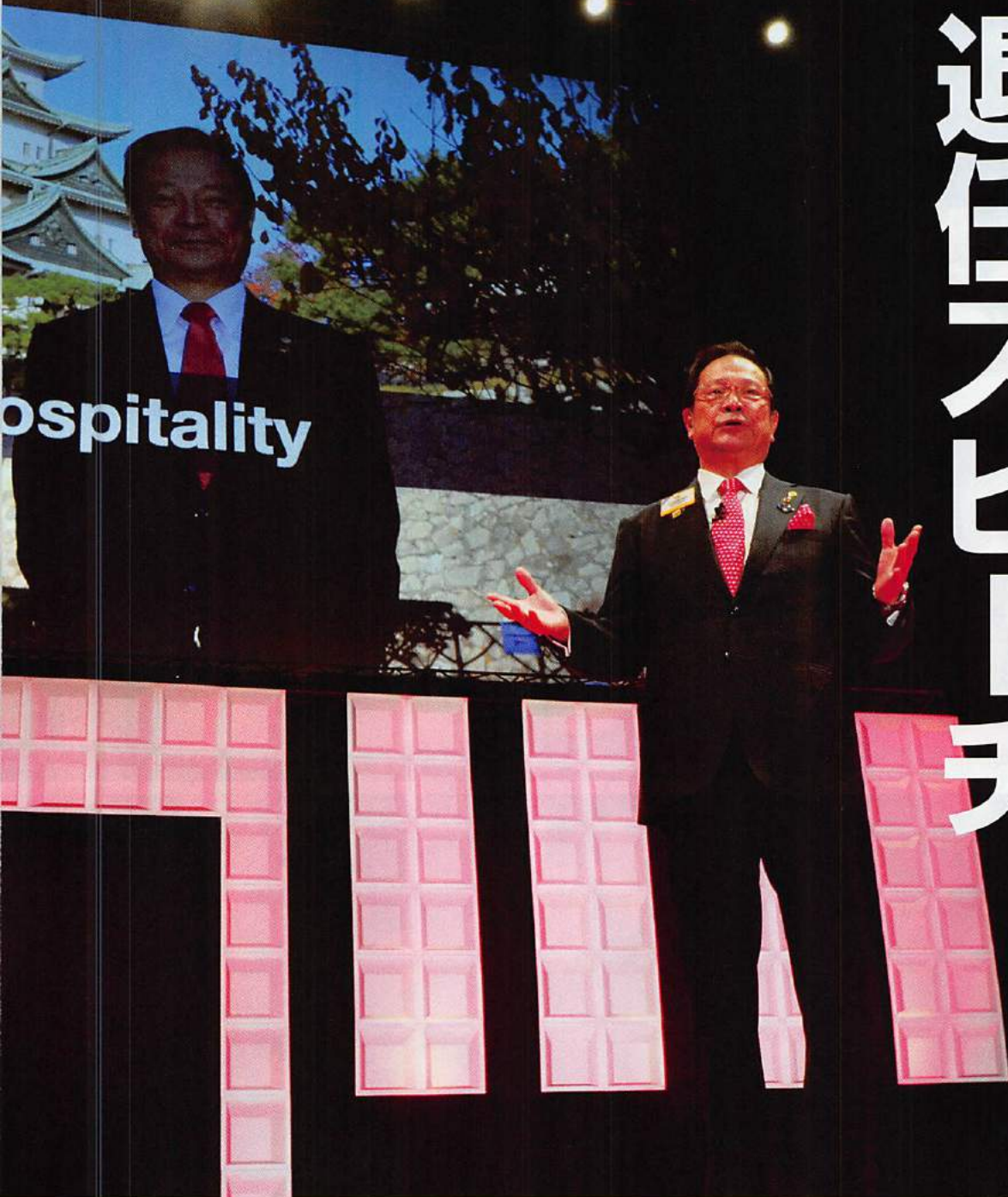
ボブ・コーリュウ 新国際会長就任式

を終えられたのは、関係者が重ねてきた努力のたまものだろう。徹底的なおもてなしの精神に触れた各国のメンバーからは、日本のライオンズに対して称賛の声が上がっていた。

福岡では毎年、夏の風物詩である博多祇園山笠の飾り山一般公開が7月1日に行われる。だが、今年はライオンズの国際大会に合わせて6月24日から一般公開された。博多駅や本会議場であるヤフオクドームに加え、パレードコースのちょうど中間地点付近にある川端中央街、博多リパレインでも飾り山が展示されており、パレードに花を添えていた。中でも博多リパレインの山笠は世界のライオンズのメンバーに日本文化を知ってもらいたいという発想から作られたという。まさに、福岡市全体で各国のライオンズ・メンバーを歓迎しようという心意気が伝わってくるエピソードだ。

パレードの終点である天神中央公園ではライオンズ・マーケットが開催され、福岡市天神の大丸エルガラ・パサージュ広場、岩田屋本店本館7階大催事場ではライオンズクラブのパネル展が実施された。こちらにも一般の人たちや海外のメンバーが訪れ、ライオンズの存在感を示すものとなった。

山田實紘国際会長 退任スピーチ



光

陰矢のごとしと言います
が、ハワイ・ホノルルで
始まって、福岡までのこ
の1年間は、まさにこの言葉の通り、
私の70年の人生の中で最も早い1年
でありました。

もっと腰を落ち着けて解決したい
ところも多くありました。しかし、
既に1年間が過ぎ去ろうとしていま
す。

私のテーマ、「命の尊厳と和——
Dignity. Harmony. Humanity.」
を世界中に語り掛け、平和のシンボ
ル、チームワークとリーダーシップ
を体現する鳥である鶴にメッセージ
を込めてまいりました。

そして、世界中のライオンズがそ
れに応え、一体となって行動を起こ
してくれました。

それは、大きなウェーブとなり、
光の当たらない人々に手が差し伸べ
られ、多くの人々への奉仕が実現さ
れたことに、心から感謝申し上げます。

世界各地で、心を込めて折られた
多くの鶴を受け取りました。全部合
わせたら大変な数だと思えます。

その中でも、全世界745人の私
のガバナーが、心を込めてハワイで
作った折り鶴は、1年間、国際本部
の会長室に飾りました。



アメリカのオバマ大統領が、今から1カ月前に広島を訪れ、自ら折った折り鶴を納めたことは記憶に新しいと思います。

私も、このガバナーからの折り鶴を、10日前に広島平和記念公園に納めてまいりました。

さて、振り返ってこの1年間を総括しますと、来年度、100年目を迎える今期は、本当にライオンズにとって大切な1年でありました。

1917年、シカゴにおいてメルビン・ジョーンズがライオンズを誕生させてから1世紀の間、どれほど多くの人々が、ライオンズの恩恵を受けたことでしょうか！

何億人、いや何十億人の人々に、私たちライオンズは関わってきたことと思います。その歴史を踏まえ、新たに次の100年を目指したスタートラインに立つために、今年はその基盤づくりの責任があると私は考え、常にその責任を念頭に置いて行動してきました。

今年、私が繰り返し使った言葉に、「温故知新」があります。つまり、100年の歴史を再度振り返り、良いものはより良く育て、さびや汚れとなつたものはそぎ落とし、次のリーダーにすばらしくピカピカのバトンを渡そう、これが本年の責任だ、ということです。

良いものをより良くすることは、

比較的簡単な仕事です。しかし、さびや汚れを取り除くのはなかなか難しい仕事であります。

私は、外科医でありますから、中途半端な手術は、余計にその体を悪くするというをよく知っています。ですから、リーダーの皆さんにも、中途半端ではなく、すばらしい腕のいい外科医になつたつもりで働いてほしい、とお願いしてまいりました。

そして全てのライオンズのリーダーたちがそれに応え、本当にがんばってくれました。

また、国際本部のスタッフの皆さんも、本当にがんばってくれました。その結果、私は明後日、ピカピカ

のバトンを次の会長にバトンタッチ出来ると思っております。

ライオンズの皆さん、今、全世界に140万人もの仲間がいる。これはすばらしいことです。そしてその仲間は今年も、皆さんの努力のおかげで増やすことが出来ました。心から感謝致します。

しかし、会員の数だけ多くすることでは意味がありません。そこに質が伴わなければ意味がないのです。

いつの世も、量と質は相反する、という考えがあります。量を増やせば質が悪くなる、質に力を入れれば量は少なくなる、これが一般的な考え方です。

しかし、ライオンズの場合にはそうではありません。奉仕を行うには人の手が必要です。会員数が増える、ということは、それだけ多くの奉仕活動を人々に提供出来るということになります。

人の手が増えることで、質の高い奉仕が可能になるわけです。その結果、多くの人々がその活動を知り、ライオンズに入りたいという人々が集まり、ライオンズであることに、より誇りを持つことが出来るのです。ですから、ライオンズの場合においては、量と質は共に上昇するわけ



です。

では私たちライオンズにとって、会員の「質」とは何でしょうか？

お金持ちであったりとか、社会的地位が高いとか、いい役職に就いていたりする人が「質の高い」会員ということでは決してありません。

ライオンズを理解し、人類を愛し、私利私欲に惑わされず、コミュニケーションの中で尊敬され、人のために奉仕することに喜びを感じる心を持つ人。そういう人こそが質の高い会員ということになります。このようなライオンズの心を持っているこ

と、このことが会員の「質」を決めるのであります。

私が多くの国を訪問する中で、すばらしい活動をしてきたライオンにアワードを贈呈する機会が多くありました。

その場で、受賞された方々と、そして受賞者を紹介するリーダーたちが、お互い涙を流して喜び合う場面を多く見てきました。

そして、その涙に大変な感動を覚え、時には何十年も、さまざまな恵まれない人のために努力をしてきた

ライオンであります。

見返りなど期待しないで、人に奉仕をすることを続けてきて、その貢献が評価されたことへの純粋な喜びが、この涙なのであります。私は見えていて胸が熱くなりました。

そのようなメンバーがいて、そしてそれをたたえる仲間がいること、これが質の高いクラブであり、地区であり、真のライオンズなわけです。

◆ さて、100年前にシカゴで生まれたライオンズは、いまや全世界に会員を持つ、世界最大の奉仕団体となりました。

現在、それぞれのライオンズクラブは、「会則地域」と呼ばれる全世界を七つに分けた単位に属しています。

今日は日本のライオンズが多く集まっていますので、日本ライオンズに向けて少し話をするをお許しください。

ここ日本は、東洋・東南アジア、頭文字をとって「O.S.E.A.L」と呼ばれる地域に属しています。近年、中国を始め、このオセアル地域で、会員が大きく増加しました。日本においても、家族及び女性会員を通じて会員が増えました。

会員数では現在、アメリカに次い

で、オセアルが第2番目に大きな会則地域となり、その差を縮めています。次年度にはオセアルが最も大きな地域になるかもしれません。

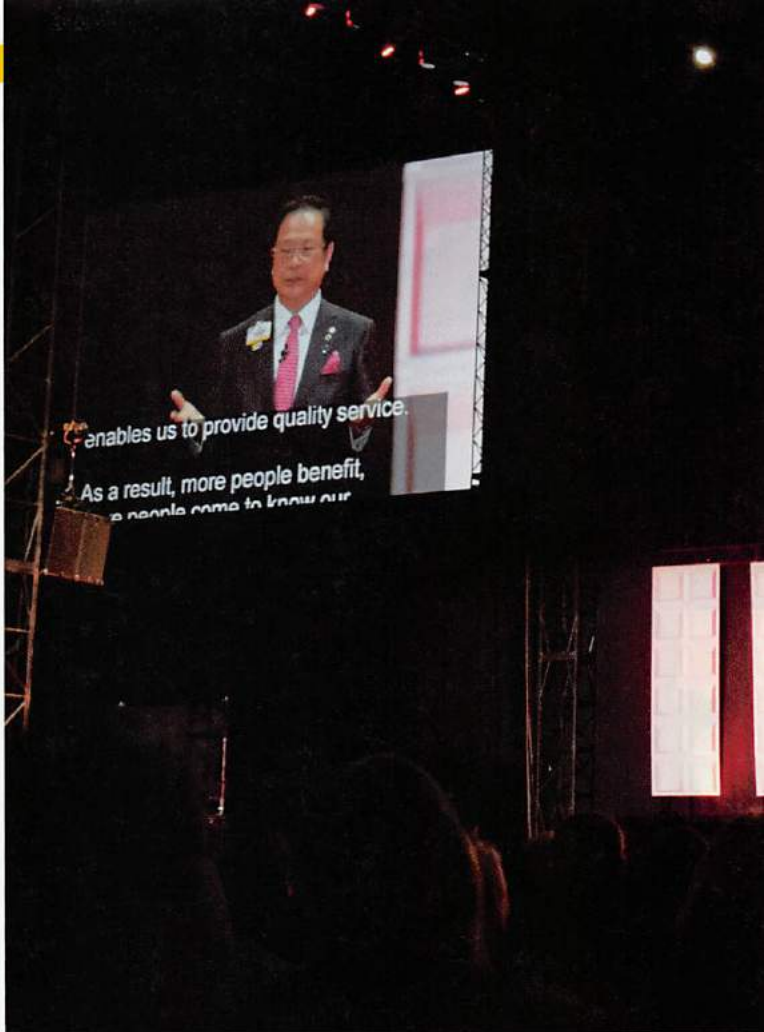
このことは、すばらしいことでもありますが、それだけの責任をオセアルが負わなければならないということでもあります。

とりわけ、オセアルの中で最大会員数である日本ライオンズの責任は重大です。

この数に比例して、日本はそれだけ多くの国際役員を選出することになります。この役員は、140万人の組織を率いる責任の一端を負うわけです。会員一人ひとりが、役員を選出する時、またはその役を引き受ける時、本気でこの責任を受け止めて頂きたいのです。

私は世界中の訪問先で、日本ライオンズのLCIFへの寄付のおかげで、実現したプロジェクトへの感謝の言葉を多く聞きました。その度に、私は日本のライオンであることを誇りに思いました。私たち自身が誇れるライオンズであるためには、より良いリーダーを育て、前に押し出し、サポートしていくことが不可欠だと、私は固く信じます。

国際会長として世界中を回ることは、まさにライオンズとしての見聞



を広める経験でありました。

例えば乾杯の言葉にしても、さまざまな形式があることを知りました。日本では、ライオンズの乾杯と言えば「We Serve」ですが、それはライオンズ発祥の地、アメリカではどうでしょうか？

アメリカで「ライオンズの乾杯」というと、お酒は出ないで、水の入ったコップで、「Not above you, not beneath you, but with you」という発声で乾杯するのです。私はこの言葉に、感銘を受けました。「not above you」＝あなたの上で

はなく、「not beneath you」＝あなたの下でもなく「but with you」

しかしあなたと共に。「上ではなく、下でもなく、いつも一緒に奉仕を」。これがメルビン・ジョーンズの誕生した国での乾杯の儀式で、いつも宴会の初めに声高らかに唱和されます。日本にも同じような言い回しがありますね。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」。福沢諭吉の名言です。世界中どこでも真の心は一緒なわけです。

ライオンズは、一人ひとりが友人であり、より良い社会のために、共

に奉仕する、尊敬し合える仲間であるべきです。

アメリカのライオンズのこの乾杯の言葉は、その心構えを示している、と私は思います。これが、ライオンズの基本だと、私は信じます。

そして、ライオンズをより良くしようという勇気を出してがんばる人に、出来る限りのバックアップをするところが、私も含め、リーダーを務めた者が果たすべき責任であると考えております。

◆ ライオンズの皆さん、国際協会のこの1年を振り返りますと、多くの重要な進展がありました。その中でも皆さんにぜひ知っておいて頂きたいことを二つ、報告したいと思えます。

2017年から国際協会の次の世紀が始まります。今年度は、その最初の5カ年の戦略計画である「LC1フォーワード」が策定されました。タイトルが物語るように、ライオンズが前へ前へとより良い循環を実現するために、何をすべきかを真剣に議論し、計画にまとめました。クラブや地区などの組織、PR、リーダーの育成や研修が、より優れた奉仕の拡大につながり、好循環を生み出すための戦略です。

また、今年度は、「グローバル奉仕の見直し調査」を行い、次の100年の奉仕目標の検討にとりかかりました。

100年経ちますと、奉仕のニーズも、変化し、多様化しております。古臭くなり、マンネリ化したようなものもあります。また、科学技術の発展、社会の変化などから、かつては考えられなかったようなニーズや奉仕の必要性も生まれています。

そこで、今後の奉仕の中心は何であるべきか、という徹底的な調査と議論を重ねました。

次年度、100年を迎えるのと同じ時に、ライオンズがどのような新しい分野にインパクトをもたらすべきかを検討中であります。私自身、結果を大いに楽しみにしています。

ライオンズが創設された時と今日では、社会は全く違った様相を呈しています。更に100年後がどうなっているかなど、私には想像も出来ません。

しかし、絶対に変わらないもの、変えられないものがあります。それは、人間である以上、人道的奉仕の精神は必ず必要だということであり、ます。

自分の幸せだけでなく、人の幸せを自分のものと感じる心、人のため

に奉仕することに喜びを見いだす人々の集まり。これがライオンズであります。

だからこそ、ライオンズは世界210カ国、140万人もの人々を引きつけ、世界最大の奉仕団体として現在存在しているわけであり、これがライオンズであり、このスピリットが生きている限り、ライオンズは不滅であります。

◆ さて、近年、自然環境の変化のためか、大規模な自然災害が更に増えているように思えます。

ここ福岡からほど近い熊本では、わずか2カ月前に大きな地震の被害がありました。その数日後には、南米エクアドルでも大きな地震があり、多くの人々が被災し、更にカナダで

の大火災が続きました。この場を借りて、被災者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

大災害があると、LCIFは直ちに交付金を決定し、ライオンズの活動を支援します。しかし自分自身が災害の渦中にあり、苦しい状況にある中で、他人のためにボランティア活動を行うのは大変難しいことではありません。しかし、それを実行するのが、ライオンズであります。

5年前、1万8千人以上の命が失われた東日本大震災では、多くのライオンズ・メンバーの命も奪われました。住居を失い、仕事や家族を失ったメンバーも大変な数に上りました。

ところが、このような被害に遭いながらも、大震災に襲われた32複合

地区は、予想に反して会員数を減らすことはありませんでした。それどころか、その後会員が増えたのです。

仮設住宅の人々の心のケアから、復興のための活動まで、ライオンズはさまざまな奉仕をしました。そのことを通じて新クラブの結成まで実現出来ました。

◆ 昨年度も、ちょうどホノルル国際大会の2カ月前に、ネパールで大地震が襲いました。1万人近い死者を出したこの地震のために、会員増強に大きな打撃を受けるだろうと誰もが予想しました。

ところがどうでしょう？ 今年度、ネパールは実に5千人以上会員数を伸ばしたのです。大災害を経験し、むしろ奉仕の力を強めることで会員の意欲を高めたのです。

◆ どんな会員増強プログラムよりも、人々の心に訴えかける奉仕アクティビティこそが、私たちの最大の力だということ、この例が示しているのではないのでしょうか。

◆ 今年、苦難を乗り越えて会員を伸ばしたネパールのライオンズに大きな敬意を表したいと思います。ネパールのライオンズ、どこにいらつしやいますか？ 更に、ここ福岡に暮らすネパールの方々で新しいライオンズクラブが結成される予定があ

ると聞いています。皆様、どうぞ、大きな拍手をネパールのライオンズに送ってください。

◆ さて、今年はまだ、シリアからの難民問題が大きな人道的危機として注目を集めました。

この写真を新聞やテレビで見た方々は少なくないと思います。3歳のシリアの少年、アイラン・クルディ君は、家族がギリシャへ逃れようとする旅の中で溺れ、トルコの海岸に打ち上げられました。

◆ 自然災害は恐ろしいものですが、人間同士が引き起こす戦乱による悲劇ほど、私たちの心を痛めるものはありません。

800万、1千万という人々が国を離れ、安息の地を求め放浪の旅に出ています。

◆ 何千キロメートルも、体力の続く限り歩き続ける老人、赤子を抱える母親、そして子どもたち。地獄のような行進です。

◆ ようやくキャンプにたどり着いても、テントの中は夏には摂氏40度以上になり、冬には氷点下20度にもなるという過酷な生活。人間としての、命の尊厳には程遠い生活を送っている人々に、ライオンズが手をこまねいているわけにはいきません。



今年度、ヨーロッパ・フォーラムで、LCIとLCIFが協力して、この問題について出来る限り対応しようとして立ち上がりました。地中海会議でも、この課題について熱い会議が行われました。

何百万人もの難民への支援として、何が出来るのか。各国政府も行動を起こしていますが、国家というもの

は自国民の生活を守る義務があるわけです。100万人の難民の人々の生活を守るために、自国民の生活を犠牲にすることは出来ません。

国家が行う活動には限界があるわけですが、しかしライオンズは違います。人道的支援は国家の行う支援とは一線を画します。

100万人の中から100人でも、

また10人でも、いや一人でも目の前の苦しむ人々を支援し、助けることが出来れば、手を差し伸べるのがライオンズであります。

140万人のライオンズの会員がおの一人の難民を助けることが出来たとすれば、これは大きな力になるわけです。

これが草の根の力であり、ライオンズがライオンズたるゆえんであります。

トルコでは、キャンプを離れ、都市の中で苦しい生活をスタートしたシリア難民が、数百万人にも上ると言われます。トルコのライオンズたちは北欧のライオンズと共に地元さまざまな組織と協力しながら、多くの支援を提供しています。

女性たちにはトルコ語と裁縫や手工芸の技術を教え、自立を支援しています。戦火の中、手足を失った子どもたちも少なくありません。その子たちに義手・義足を提供する活動も立ち上がっています。

この問題は1年2年で片付くものではありません。引き続きサポートしていく必要があります。世界のどこかでニーズがあれば、世界全体のライオンズが支援する。これがライオンズの奉仕の力であり、これが命の尊厳を重んじ、世界の調和を

保ち、平和な社会を草の根の力で作り上げていく。私たちライオンズは、人道的奉仕を行う喜びを知っています。私たちは、世界の人々に一筋の光を、明るい希望を与えることに汗を流します。

ライオンズの名の下に、一人の力は小さくとも、140万人が力を合わせることで、私たちは世界中で多くの、すばらしいことを達成してきました。そのことを思う時、私はライオンズのI字のバッジを胸に着けていることに、大きな誇りを感じます。

皆さん一人ひとりも、このライオンズの一員であることを大いに誇りに感じてください。

◆ この1年間、ライオンズの会員の一人として、国際会長という役職を全う出来たことを誇りに思います。皆様が一丸団結して「命の尊厳と和——Dignity, Harmony, Humanity」に邁進して頂いたことに心から感謝致します。

皆さんの、ライオンズ会員としての日々が、ますます充実したものでありますように心から祈念致します。私のスピーチを終了させて頂きます。皆様、この1年間本当にありがとうございました。



国際理事活動報告



西川義規 (2014～16年国際理事／姫路白鷺)

2014年7月、カナダ・トロントで開催された第97回国際大会において、皆様方の心強いご支援と絶大なるご協力により2014～16年国際理事に選出され、今日までの2年間無事に任期を全うすることが出来ました。

国際理事としての1年目は財務及び本部運営委員会とLCIF委員会に所属しました。2年目は国際大会委員会に所属し、副委員長としての責務を執行してまいりました。

新任オリエンテーションで、「Liaison, Advocate, Steward, Ambassador」(連絡窓口、支持、管理者、大使)の意識を持って活動してくださいと教育指導を受けました。国際理事会、OSEALフォーラム・ステアリング委員会、そしてフォーラムや国際大会に出席し、世界各国の国際理事や国際本部の方々との意見交換を通して、世界のライオンズの動向を深く実感することが出来ました。

16年3月にアメリカ・ジョージア州サバンナで開かれた国際理事会では、ロブ

歴史と伝統の上に、未来を模索した2年間

レスキー国際大会委員長の代理として委員会を開催し役責を務めました。また15年12月のバンコク・フォーラムの際には国際理事会フォーラム連絡員として、「Shaping Our Future」セミナー開催を委託されました。これは国際協会の今後5年間の指針となり、次なる100年間の基盤ともなる「LCIFフォーワード」という新たな戦略計画を練るために、多くの会員からの意見収集を目的としたセミナーです。

日本における仕事としては、日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所の統合が、幾度も話し合いを重ねた末に実現しました。今改めて関係各位のご尽力に心よりお礼申し上げます。

また「一般社団法人日本ライオンズ」の設立にも協力、16年6月13日には設立総会が開催されました。設立までにはさまざまな課題がありました。協議会議長始め各地区ガバナー、関係各位に大変なご努力を頂いたことは深く心に残っています。

第99回福岡国際大会については、熊本地震により大きな被害を受けた九州での開催ということ、いろいろなお意見があったかと思えます。しかし担当国際理事として、大会を成功裏に終え九州の皆様を元気づけると共に、さまざまな形で支援が実行出来ることを信じておりました。ホスト委員会始め337複合地区役員、会員の皆様の長期にわたるご苦労とご尽力のたまものだと思います。

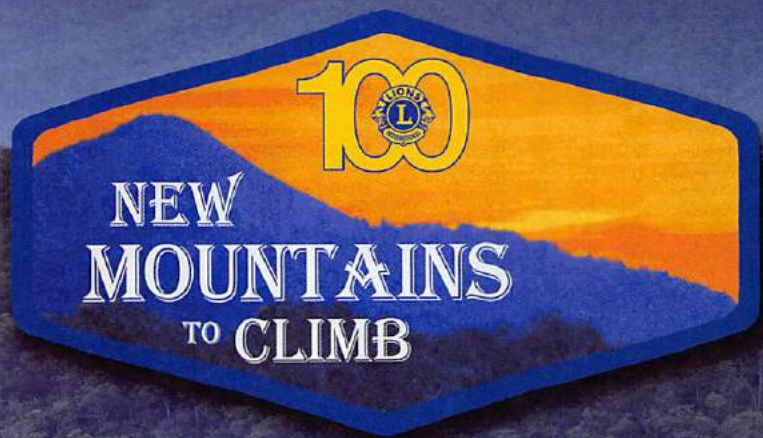
ライオンズの長い歴史と伝統そして世界各国における奉仕活動の実績という誇りは、永遠に受け継がなければなりません。しかし皆様もご承知の通り、ライオンズには会員増強や質の向上、そして次世代リーダーの育成など、未来に向けて取り組むべき課題がまだまだあります。私は国際理事退任後も、同志の皆様と共にライオンズクラブの更なる発展に向けて精いっぱい尽力致します。

2年間の任期中、公私にわたりご支援ご協力を賜りました各位に重ねて御礼申し上げます。活動報告とさせていただきます。

ライオンズクラブ国際協会
2016-17年度国際会長テーマ

INTERNATIONAL PRESIDENT

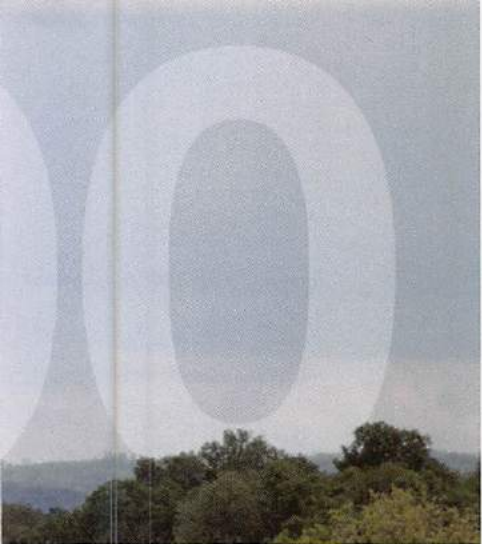
CHANCELLOR
BOB CORLEW



国際会長 ボブ・コーリュー
「次なる山を目指して」

次なる山を目指して

私の故郷、テネシーはさまざまな景色と音にあふれています。州のはるか西には雄大なミシシッピ川の流れる音、テネシー中部には農業と産業の音、東部にはアパラチア山脈の野生の音が響きます。その全てが、アメリカ南部の温かなもてなしの心を表す、特徴的な音です。テネシー北西部を流れるミシシッピ川の水の音と、そこから南下したメンフィスのビルストリートから聞こえてくる物哀しいブルースは、西テネシー独特の風情を感じさせてくれます。一方、東の州中央部へ移動すると、比較的平坦な土地がなだらかな丘陵に変わります。カントリースタイル音楽を育



んだ、この地域特有の地形です。バンドジョーやギター、マンドリンの音色は、ナッシュビルを取り囲む山々に古くから響き渡り、テネシー山間に住む多くの農夫たちに夢を与えてきました。「プリンターズ・アレイ」と「ミュージック・ロウ」と呼ばれる音楽街はよく知られており、この土地がアメリカきつての「音楽の町」と言われるゆえんとなっています。更に東、ノックスビルと輸送都市チャタヌーガへ移ると、農村の音は産業の音へと変わります。無秩序に広がるこれらの都市のすぐ東からは、東テネシーに見渡す限りそびえ立つグレートスモーキー山脈の丘陵地帯が始まります。

手つかずの自然が広がるのどかな片田舎に行くと、ウズラの「ポプ・ポプ・ホワイト」という鳴き声だけが一日中響いています。

夕方になり、山に日が落ちると、今度は遠くからホイップパーウィルと呼ばれる夜鷹の寂しげな鳴き声や、コヨーテの遠吠えが聞こえてきます。小さな集落のそばでは、バンドジョーやギター、フィドルの音がこだまのように響き渡り、郷愁を誘います。夏が過ぎ、秋が来れば、原生のカエデ、ユリノキ、カバ、セイヨウトネリコ、栗の木、ナラ、ヒッコリーな

どの木々が、丘や山々を、赤、オレンジ、黄色の極彩色に染めます。秋が冬に変われば、落ち葉は一面の雪へと姿を変え、そこから点々と顔をのぞかせるのはすっかり葉の落ちた樹の幹と、青々と茂る杉だけです。

私の家の近くにある丘や山々は、他にはない環境を作り上げています。グレートスモーキー山脈が作った自然の垣根は、何世代にもわたり、独特の訛りと、土地ならではの料理、そしてストーリーテリング（物語り）の伝統を育みました。私は、自分のプライバシーを非常に大事にする家系に育ちました。私の祖先は、テネシーの美しい景色に囲まれた山の上や谷間に家を建てました。そう

することで、他の州から、そして当時のアメリカで主流とされていた生活様式から、隔絶した生活をしてきたのです。このような孤立が、地域の開拓者に独立精神を与えました。こうした山間部の集落の孤独は、図らずも、人のまばらなこの地の住民の間に強い結束をもたらす結果となったのです。助け合いの精神が強くなり、隣人が隣人を助け、見知らぬ者同士が助け合うという伝統に発展しました。「ボランティア（進んで手を差し伸べる）」の伝統があまりに根強く浸透していたため、1800年代初

期、独立して間もないアメリカ合衆国の平和が脅かされそうになった時、今のテネシーに当たる地域の大勢の開拓者たちが、同胞のために義勇兵として立ち上がりました。テネシーが後世まで「ボランティア・ステート（志願兵の州）」と呼ばれるようになったゆえんです。

そのボランティア精神は、今もテネシーに息づいています。「人が人を助ける」は、今日も多くのテネシー人を言い表す形容詞となっています。テネシーの道で誰かにすれ違ったら、ほぼ間違いなく、明るい「おはよう」のあいさつ、もつと小さな町なら「やあ、調子はどうだい」の声を掛けられることでしょう。また、州内の小さな村で車を運転すれば、対向車は皆フレンドリーに手を振ってあいさつしてくれるはず。時代は変わり、新しいテクノロジーが古い伝統に取って代わっても、テネシーならではの古き良き親切心は変わることがありません。しかし、時代の変化に伴い、新たな課題が出てきました。新しい、これまでにない奉仕の機会が出現したのです。惜しみなく与える者たちが活躍する新たなチャンスです。現代においてもテネシー人の心には古いボランティア精神が生き続けています。

浸透していたため、1800年代初

山頂に達するのは、旅の終わりではありません。
新たな旅の始まりです。新たなチャンスです。

私が少年時代にテネシーで身につけたこの伝統と、多くの困難を乗り越えて山中での生活を切り開いた先人たちの残した独立心が、「次なる山を目指して」を私の会長テーマとするきっかけとなりました。

登山は、人々が日々直面するさまざまな場面を表しています。取り組むのに最大限の努力を要する、困難で険しい課題を示しています。しかし、こうした山を乗り越えてこそ、私たちは最大限に成長出来ます。一つひとつの山が、新しいチャレンジ、新しいチャンスを表しています。

私たちの住む世界が絶えず変化するために、新たな課題、すなわち他者に奉仕する新たなチャンスが訪れます。失明、はしか、その他の健康問題、食料不安、飲み水の不足、戦争、社会不安……これらは全て、世界中の無数の人に影響している問題です。しかしそれは同時に、ライオンズが世界をより良い場所にしていくと取り組む上でのチャンスとも言えます。ライオンズはこれからも、奉仕の新しい手段を見つげながら、上を目指し続けなければなりません。山の一つひとつがライオンズに新しい機会を提供し、その山に挑むことで私たちは他の誰かのために世界を良くするチャンスを得るのです。

地域奉仕の100年の節目に際し、私たちは過去に敬意を払いつつ、現在を見つめますが、計画を立てて築き始めなければならぬのは協会の未来です。私たちの未来は輝いています。しかし、次なる山を乗り越えようとするならば、後に続く次世代のライオンズたちに道を示し、奉仕の伝統を守るため、眼前に進むべき道を整えなければなりません。

奉仕の頂点を極める

奉仕を通して導く。それこそが、我々の強みです。ライオンズは、ボランティア活動がもたらす成果と、奉仕者が地域にもたらす価値とを、その目で見てきた地域のリーダーの集まりです。

私たちは、ライオンズクラブ国際協会が提供する奉仕活動とプログラムを常に見直し続け、協会の総合的なビジョンの下に、奉仕プログラムが協会の目的に沿ったものとなっていること、そしてその結果として、会員が増え、会員のクラブでの満足度が増し、より有意義なパートナーシップの実現と、一般社会における認識の高揚につながっていることを確かめなくてはなりません。究極的

には、ライオンズがこれからも奉仕を通して導き、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての地位を確固たるものにしていくべきなのです。ライオンズは、世界各地の地域社会の健康と福祉に対し、多大な影響力を持っていきます。ライオンズが日々の生活に影響を与えているさまざまな場面を考えてみてください。

- 環境・ライオンズは、町内、道路、公園、河川、緑地、水辺などの美化に取り組み、皆が安心して使えるようにしています。
- 青少年・ライオンズは、時には個人指導員、時には教師、時にはメンター、時にはコーチとなって、算数の宿題から、人生の悩み、サッカー大会まで、あらゆる場面で若者を支えています。
- 飢餓・ライオンズは独自に、または他の機関との協力を通じて、食料問題に取り組んでいます。
- 視力・予防可能な失明と闘い、目の不自由な人たちが必要とするサービスを提供するため、ライオンズはさまざまなレベルで努力しています。

ライオンズは、世界中の地域社会の重要なパートナーであり、かつ当事者です。考えてみてください。私たちの住

む地域にライオンズクラブが無かったら、どうなっていたでしょうか？

町や、公園、学校、図書館はどんな姿になっていたでしょうか？ どういった基本的なニーズが見過ごされることになったでしょうか？ 社会として成長し、学び、発展していくための、どんな機会が失われていたでしょうか？ 想像しがたく、考えにくい世界です。

幸い、ライオンズクラブの無い世界を想像する必要はありません。100年間にわたり、ライオンズの奉仕の影響範囲は、メルビン・ジョーンズが予想だにできなかった発展を遂げてきました。

ライオンズはこれからも、私たちを定義づける二語——私たちの存在理由であり、本質そのものを表す言葉「ウィ・サーブ」を忠実に守り続けます。そして、ライオンズは他者に尽くすための新たなチャレンジと新たな機会に挑みます。高すぎる山はありません。

2014年のトロント国際大会において100周年記念期間がスタートした時、私たちはライオンズに次なる山への挑戦を呼び掛けました。2018年6月30日までに青少年、視力、食料支援、環境の4分野で合わせて1億人以上の人に奉仕すると

いう挑戦です。ライオンズは、ライオンズらしく、情熱と決意とをもって応答してくれました。最初のわずか1年で、私たちは目標の3分の1以上を達成したのです。そして、100周年記念奉仕チャレンジの2年目を終えようとする今、3分の2をはるかに超え、目標突破に向けて順調に進んでいます。

しかし、ここで休んではいけません。大小問わずクラブが活動するどんな地域でも、100周年記念レガシー・プロジェクトを行う機会があります。世界中のライオンズがこの新しい挑戦を受けて立ち、ライオンズのすばらしい活動と、創立100年目に我々が登頂した山々を、会員と地域住民にいつまでも思い出させてくれる永続的な遺産（レガシー）を築き上げていきます。それは、子どもたちが遊べる公園や、若者たちが競い合う運動場、生徒たちが学ぶ学校かもしれません。必要な人にサービスを提供する眼科センター、病気の人が治療を受けられる病院、樹木が育ち環境が保護される森林、お年寄りが学び楽しめる図書館かもしれません。あるいは、奉仕の使命を思い起こさせてくれる彫像、時計塔、または看板かもしれません。世界中のライオンズが今、レガシー・プロ

ジェクトの実施によって満たされるニーズに目を向けています。その山は高く、頂上はまだ見えません。実現しようとする目的にたどり着くためには、根気が必要です。しかし、私たちはライオンズです。休まずに頂点を目指します！

地域社会とつながる

ノン・ライオンのフォーカスグループを対象とする調査で、ライオン

ズのロゴは非営利団体の中で最も広く認識されている標識の一つであることが分かっています。ロゴを見る人は、地域奉仕を連想します。

地域への奉仕をすること、特別なつながりと、いつまでも続く絆が生まれます。私たちは、2万以上のクラブによるレガシー・プロジェクトへの参加を目標としています。左の事業例に示されているレベル1、2、3のいずれを選ぶにせよ、必ずライオンズのロゴを目立

レベル1：地域社会での知名度アップ

- 新しい看板
- 記念時計塔や地域に関連する彫像
- 地域のベンチ
- 駐輪スタンド
- 東屋やピクニックエリア

レベル2：もう少し規模の大きい貢献

- 新しい遊具や障害者向けの補助設備を設置することで公園や遊び場を改修する
- 地域の既存の施設にバリアフリー設備を寄贈する
- 満たされていないニーズに対応するため病院の設備を整える
- 学校に衛生インフラや浄水システムを設置する
- 歩道橋を建設して交通量の多い交差点を安全にする

レベル3：地域社会の暮らしを向上するための恒久的な事業

- 診療所や図書館、学校を設置または拡大する
- ホスピスや病院に「ライオンズ・ルーム」を作る
- 視覚障害者センターに技術ラボを設置する
- 失業中の若者や障害者向けに職業訓練施設を建てる
- 地域社会に新しい公園や遊び場、プールを作る



LACEY MIDDAY
2ND & 4TH WEDNESDAY NOON
PANORAMA CITY RESTAURANT

リーダーシップの育成は、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力あふれる組織であり続けるための手段です。



つ形で表示してください。また、100周年記念奉仕チャレンジ事業と同様に、事業の報告を忘れずに行ってください。

次なる山を越えるためのリーダーシップ

リーダーシップとは、ビジョンであり、知識であり、原動力であり、自信であり、前向きさであり、受容力であり、人間味であり、思いやり

です。ひたむきさと、自負心と、達成をもたらす、方向性であり指針です。リーダーシップとは、人が持つ最大限の力を呼び起こし、引き出すために必要不可欠なものです。目標を達成しようと相手に思わせるような影響とモチベーションを与え、組織が結束し一致団結するような方向に導いていくプロセスです。

リーダーシップとはつまるところ、人々を触発し、力づけ、熱意を持たせる能力——人々を導き動かす能力——人々の心を共通の目標に向かわせ、望み通りの結果を得る能力のことなのです。

リーダーとしての実践的な経験によって、ライオンズのメンバーは皆、他者により良い奉仕をすると同時に人間として成長する機会を得ます。リーダーシップ育成はまた、他者とコミュニケーションを取り、モチベーションを与え、導き、情熱を与える方法を学ぶことによつて、自身と他の人の感情にうまく対処する方法を理解する効果的な手段でもあります。

増え続けるニーズに応えるためには、効果的かつ効率的にそれを行う必要があります。それを可能にするのが、優れたリーダーの存在です。強力な奉仕＝強力なクラブであり、強力なクラブ＝会員の誇り、積極性、情熱なのです。

同じく重要なのは、リーダーシップの育成が、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力にあふれる組織であり続けるための手段であるという点です。100年祭を祝うに当たり、我々は未来に向けて計画を立てなければなりません。引き継ぎを念頭に置き、長期にわたり我々を導き支えることの出来る、知識と、能力と、情熱と、先進的な考えを持ち併せたライオンズ・リーダーを、十分に確保しておくことが重要となります。



山の頂上を目指すのであれば、適切な道具が必要です。同様に、優れたリーダーになるためにも正しいツールが必要となります。ライオンズのリーダーシップ育成における各種プログラムや、ツール、資料によって、世界何千人というライオンたちがスキルを磨き、課題にうまく対応するだけでなく、未然に防ぐ技術をも身に付けてきました。会場で行う研修でも、オンラインでの研修でも、好みに合ったトレーニングを受けることが可能です。国際協会とGLTが用意する幅広い研修と育成のチャンスを利用することで、更なる高みを目指すことをお勧めします。

新会員の招請でインパクトを高めチームを築く

ライオンズクラブ国際協会には多くのチームによって成り立っています。クラブ、ゾーン、リジョン、地区、複合地区、地区ガバナー・チーム、グローバル指導力育成チーム（GLT）、グローバル会員増強チーム（GMT）、国際理事、執行役員、本部スタッフ等々、全員が、他者への奉仕を充実させるという共通の目標に向かって力を合わせています。成功しているチームが共通して大

事に行っているものには、大きく分けて2種類があります。それは、次の二つです。

(1) 目標を達成すること、または使命を遂行すること

(2) 個々が一つのチームとして互いに関わること

一つ目の種類には以下のような価値観があります。

- 役割・それぞれのチームメンバーにしか出来ない働きと限界をよく理解し、明確な分業を行います。

登山では、新しいルートを見極めるのが得意な人、ロープの設置が上手な人、先頭でロープをリードする人などがいます。

- 共通の目標・チームの目標は、個人の目標よりも重要です。例えば、登山チームのメンバーは、単に登山者個人としてではなく、チームとして一緒に山頂に到達したいという気持ちを共有しています。

- チームの自信・チームは、自分たちなら出来ると思っています。そして二つ目の、個人間の力学に関する価値観には以下のものがあります。

- 信頼・チームメンバー同士が、相手なら期待通りにやってくれると信じています。つまり、互いの行動に一貫性を認めているというこ

とです。登山では、ザイル（ロープ）を結んだのが自分ではなくパートナーであつても、安全に信じていると信用し、互いの身体を預け合います。

- 相互理解・登山パーティーのメンバーは、誰かが登山を続けるには体が弱り過ぎていて、あるいは精神的に疲れ過ぎていて、すぐに気が付けるよう、お互いの精神状態や、欲求、個人的な問題などを把握しています。

この五つの価値観こそが、チームを順調にスタートさせ、頂点に達することを可能にしてくれるのです。一人ひとりのチームメンバーが等しく重要です。そして、全員が影響力を持っています。我々のチームに新会員が1人加われば、奉仕の影響を受ける人が30人増えます。つまり単純計算でいけば、会員が千人増えることに3万人の人生に影響を与えられるということです。

100周年記念期間の目標は、全てのクラブが毎年3人の新会員を増やし、全ての地区が一つの新クラブを結成することです。これは、5%増という控えめな数字で、およそ13万8千人の新会員を意味します。しかし、それによって奉仕を受ける人の数は4100万人も増加すること

になるのです。

会員を増やすために入会してもらおうではありません。地域社会で高まり続けるニーズに応えるために入会してもらおうのです。

私の山とあなたの山をつなぐ

山というのは、孤立しているものではありません。つながっているものです。アルプス、アンデス、ヒマラヤ、そしてそう、私の故郷テネシーを貫くパラチアのような、山脈と呼ばれる山々の連なりの一部なのです。

ライオンズもまたつながっていません。奉仕を通じて、友情を通じて、そして私たちが愛情を込めて「ライオンズム」と呼ぶものを通じて。

世界中のライオンズは、インターネットを通じてこれまでにないほどにつながっています。これにより、私たちのコミュニケーション能力は向上しました。リアルタイムのやり取りを通じて、感覚的にだけとはいえず、世界はほんの少し小さくなりました。そして、ソーシャルメディアを使ってライオンズはこれまで以上に一般社会とつながっています。

オンライン例会を試しているクラブや、スカイプや電話会議を通じて

の出席を認めているクラブさえあります。ライオンズの国際役員たちも

物理的には世界の別の国のイベント会場にいながらにして、他国で集まるライオンズにスカイプやフェイスタイム等のビデオ電話でスピーチを行うことが増えてきています。

電子コミュニケーション・ツールの使い道は多岐にわたります。より幅広い、より多様な相手に情報を伝達出来ることなど、そのメリットもまた多くあります。時間と経費の節約にもなります。

2017年シカゴでの100周年祭の準備をする中で、本部スタッフはメルビン・ジョーンズが書いた数々の手紙をひもときました。ライオンズの創始者であるジョーンズは、まだライオンズクラブの無い新しい地域とその近隣のライオンズに宛てて、個別に連絡を取ることに膨大な時間を費やしました。彼の手紙はライオンズを動かし、奉仕の必要な世界中の多くの地域で新クラブを結成するきっかけとなりました。

私たちが未来を計画する上で、インターネットは重要な役割を占めます。ライオンズムの効率、便宜、拡大の精神に基づき、メルビン・ジョーンズもこれを認めてくれることでしょう。

次なる山、そしてその向こうへ

100周年記念が終わってしばらく経ち、歓声が収まり、音楽も少し静かになった頃——ライオンズが世界をより良い場所にするという仕事を続ける上で、私たちにまだまだ多くの課題が待ち受けていることでしょう。前進すればするほど、世界各地で高まり続ける奉仕のニーズが次々と立ち上がるでしょう。

だからこそ、私たちは前進しなければなりません。次なる山に挑み続けなければなりません。そしてその一つひとつを越えていかなければならないのです。人々が我々を頼りにしています。

「LCIフオーワード」は、人道奉仕の範囲を著しく拡大し、現在の協会の運営体制を改善して、ライオンズの奉仕の下に人々を一つにする新たな道を模索するために考案された戦略計画です。

LCIフオーワードの主なゴールは、年間2億人以上、つまり現在の3倍以上の人に奉仕を提供することです。

更には、世界で最もよく知られるボランティア組織／ブランドを目指すと同時に、クラブ、地区、そして

ライオンズ・ファミリーに最上級のサービスを提供すること、そしてライオンズ

の名の下に人道奉仕活動に人々を巻き込んでいくための斬新な方法を探ることも掲げています。

戦略的な主眼は四つの分野に分かれています。

• 我々が誰であり、何をしているのかについて、世間一般のイメージを再形成し、認知度を高める

• 奉仕のインパクトと焦点を強化する

• 会員の価値を向上し、新たなマーケットへ働き掛ける

• クラブ、地区、組織の向上を追求する

四つ全ての分野を押し進めることで得られる結果は以下のようなものです。

1 人道的なニーズがより効果的に解決される、元気でいきいきとした地域社会

2 会員の増加と定着率の向上。大部分のクラブの奉仕と会員が毎年増え続ける

3 ライオンズ奉仕の新しい手段

4 世界で最もよく知られた

ボランティア奉仕団体としての認知度の向上

2017年のシカゴ100周年記念大会の際には、新しい主要グローバル奉仕分野を大々的に発表する予定です。これは、全てのライオンズが受け入れ、一般社会に広く認識される、統合的な奉仕のプラットフォームとなるものです。ライオンズが登るのを心待ちにする、新しい山なのです！

シカゴに集結する時、私たちはライオンズの過去の栄光を振り返るだけでなく、輝かしい未来を祝うことになるでしょう。

頂上からの眺め

次なる山。次なる挑戦。次なる目標。次なる奉仕の対象。次なる新会員。次なるリーダー。

100年にわたる奉仕を振り返る時、どんなニーズも見過ごされるべきでないというライオンズの伝統を築き、数々の山の斜面を踏みながらこの組織を人道奉仕のグローバルリーダーたらしめる道を開いてきた先人たちの偉業に、私たちの胸は熱くなります。

しかし、私たちの仕事はまだ

まだ終わりません。ある有名な登山家は、「なぜあの山に登ったのですか」と尋ねられ、ただこう答えました。「頂上に行くために」。山の頂からは、世界は違って見えます。山頂からの眺めは、360度のパノラマという、全く異なる風景を見せてくれます。山のてっぺんからは、後にした村里も、行く先にある町々も見渡すことが出来ます。はるか下の谷底を流れる川も、そして、そう、次に目指すべき頂上も。

次なる山の頂上からの眺めがどんなものであるのか、私たちにはまだ分かりません。しかし、そこにたどり着かなくてはならないことは分かっています。奉仕の次のレベルを指しながら、次世代のライオンズのための道筋を残さなければならぬことを、私たちは知っています。

今こそ、次の100年に向けて、そしてライオンズクラブ国際協会の200周年に向けて、自分たちと、後に続く者たちの準備を整える時です。新たな高みへと登り続けていくこの旅に、ぜひ加わってください。よう、お願い致します。



ボブ・コーリユー国際会長プロフィール

裁判官、国際会長に就任

6月28日の福岡国際大会閉会式で、ライオンズクラブ創設100周年の国際会長にボブ・コーリユー元裁判官が就任した。

評

決は下された。福岡国際大会で、第100代ライオンズクラブ国際会長に

就任したボブ・コーリユー会長は、ライオンズクラブ国際協会にとって転換点となる2016・17年度の手綱を任せられ、この1年間、いわば裁判に掛けられることになる。

「自分に務まるかという不安と共に、湧き立つ意欲を感じています」

彼は屈託の無い笑顔を浮かべる。「100周年を迎える今年度、私たちはライオンズとして世界に計り知れない影響を及ぼすことが出来るでしょう。私たち全員が協力し、全てのクラブ、全てのゾーン、全ての地区を結束させなければなりません」

彼は国際会長として世界を巡り、クラブ、奉仕団体や非営利団体のリーダー、各国の首脳・元首・要人たちと顔を合わせることになる。また、国際理事会のメンバーと協力し、ライオンズクラブの進むべき方向も決めていく。コーリユー会長はたった1年で一生分の経験をつかみ取ることになるが、それは生涯にわたって彼の選択と決定の糧となるはずである。

63歳のコーリユー会長にとって、脚光を浴びるのは新しいことではない。30年間裁判官を務めた郷里のア

メリカ・テネシー州では民事訴訟を審理し、企業や政府を巻き込み注目を集めたいいくつかの係争事件にも判決を下している。弁護士としても働き、法律を教え、29歳の時から2年間はマーフリーズボロ（テネシー州にある都市）の市議も務めた。

ライオンとしての奉仕活動でも同様に影響力を発揮。大きく活発で人手も十分であったマーフリーズボロライオンズクラブで、彼は入会後まもなく幹事に就任している。パンケーキを裏返し、ほうき、電球、モップの販売などの資金獲得事業に没頭。そうして集めた資金で開設したテネシー・ライオンズ児童眼科センターは、急速に一流の診療所へと成長した。

ニーズと彼は引き合うかのようにだった。地区ガバナーとしてあるクラブのチャーター・ナイトに出席した時には、暴風雨がその地域を襲い、逆巻く洪水によって人々が家に取り残されてしまった。誕生したばかりのライオンズの一群は晩餐の席を立ち、モーターボートに飛び乗って脅えた人々の救出に向かった。

大人びた若者

テネシー州のナッシュビルから25マイル南に位置するマーフリーズボロは、コーリユー会長の少年時代には人口

4万人ののどかな町だった。父は70軒の農場で肉牛を育てながら、大学で歴史を教えていた。コーリユー会長は3人兄弟の長男で、まれに見るほどこましゃくくれた少年だった。小学校の2年生の時にはあるクラスメイトと「77クラブ」を結成したが、それは両親が所属していた市民クラブ（残念ながらライオンズクラブではないが）を模したものだ。2年生では7歳になるので、この名前を思い付いたそうである。

77クラブにはクラスメートの大半が加わり、主な目的はピクニックに置かれていた。コーリユー会長によれば、彼らはやがて「環境保護」を目指すようになった。きっかけは遊び場の蛇口が水漏れを起こしていたことだった。彼は苦笑しながら、次のように語る。

「私たちは、ブランコや滑り台の下に水が流れ込まないようにしたのです」

ちょうど1年後、8歳になっても彼の起業家精神は健在だった。この資質は後にライオンとしても役立つが、当時はガソリン販売のビジネスに生かされていた。彼の父には石油の卸売をしている友人がいて、父は200ガロン（約760リットル）のタンクを持っていた。会長はその友人から

卸売価格でガソリンを買い、小売価格で隣人たちに販売した。

彼の大胆さが裏目に出ることもあった。やはり8歳の時、購入してからまだ2カ月の父のトラックを農場で乗り回し、納屋に激突させてしまった。息子が自分の愚かさをいつまでも忘れないよう、父は納屋のへこみを修理しなかった。

とはいえ会長は不良少年というわけではなく、やり抜くタイプの若者だった。市民論に関心を持ち、アラバマ州の、ある上院議員の雑用係の職を得て、高校2年の年をワシントンDCで過ごした。他の雑用係と共同でアパートを借り、午前中の3時間高校の授業に出席し、その後は1日の大半を有権者への祝い状を書いて過ごした。

「私は政府に加わることを夢見ていました」

と、コーリユー会長は振り返る。「それは実現しませんでした。ワシントンでの1年は私に大きな影響を及ぼしました。テレビや新聞で見たことのある多くの人々と、上院の議場を歩き回っていたのです」

彼自身が実際にメディアに出るようになったのはテネシー州の高校に戻ってからで、授業が始まる前に地元ラジオ局に立ち寄ってニュース

を読み上げた。コーリユー会長は低くて心地よい「ラジオ向きの声」を持っていた。大学の夏休みには、マーフリーズボロの別のラジオ局で働いた。彼を雇った局のオーナー、オースティン・ジェニングスは次のように述べている。

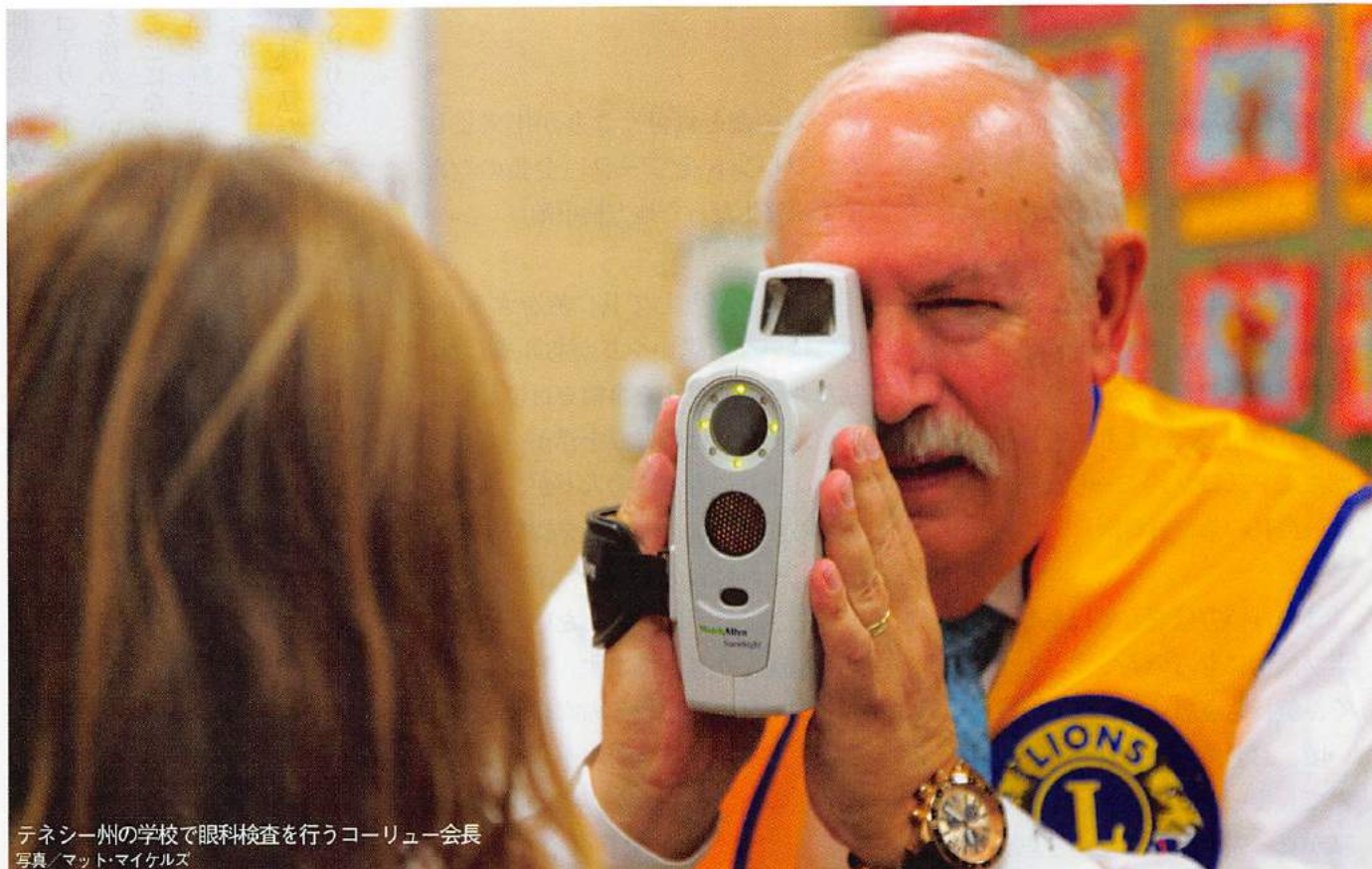
「彼は素晴らしい声と善良な人柄を持っていて、報酬が安くても喜んで働いてくれました」

奇遇なことに、ジェニングスはライオンであっただけでなく、1988年には国際会長も務めている。

コーリユー会長はノースカロライナ州のデビッドソン大学で歴史を学び、4年の時にはクラスの級長になった。予備役将校訓練団（ROTC）にも登録し、やがて陸軍予備軍に加わって引退まで十数年を勤めた。

デビッドソン大学では障害のある子どもたちの家庭教師をしていたが、その数人から受けた感銘は今も忘れられない。ボランティアとしてのそうした強烈な経験、ボーンスカウト（後にイーグルスカウト）の活動に打ち込んだ年月、また地域社会とのその他の関わりは、彼の人格形成に役立った。

「私たちがそれぞれに人生を振り返る時、何かしら自分を作り上げた出来事があるはず。それは私たち



テネシー州の学校で眼科検査を行うコーリユー会長
写真/マット・マイケルズ

に、『自分は世界をより良い場所に
変えなければならぬ。自分の町、
自分の地域社会のために、状況を改
善しなければならぬ』と思わせた
何かです」

彼がライオンズに入会したのは弁
護士になって間もない78年のことだ
った。ある夜、同じオフィスビルで
働いていた不動産業者がやはり遅く
まで残っていて、ディナーに誘って
くれたのである。

「車に乗り込んだ時、彼はどこに行
くつもりなのか教えてくれませんで
した。それがライオンズの例会だっ
たのです」

結局、すばらしい集まりであるこ
とが分かった。会員の多くとは既に
知り合いで、彼を温かく迎えてくれ
た。

「この時の経験から、これこそがク
ラブに客人を迎える時の私たちの態
度であり、温かい歓迎が何よりも大
切なのだとなりました」

彼に入会を決めさせた要因はこの
他に次の二つがある。一方は極めて
重要であるが、他方はそれほどでも
ない。

「彼らは早速、クラブが行っている
事業をとて熱心に説明してくれま
した。クラブはその地域社会でだい

に活躍していたのです。それに、料
理もなかなかおいしかったものです
から」

彼はライオンになろうと決め、特
に青少年への支援に力を入れた。彼
はキッズフェスタを始め、児童養護
施設の子どもたちに贈り物を買ひ、
眼科検査を行った。

「見つかった眼病の中には、私たち
が眼科検査を行わなければ幼い命を
脅かしかねないものもありました」

裁判官になったことは、ライオン
としての取り組みにも影響を与えた。
「仕事を通して、あらゆる立場から
の意見に耳を傾ける必要性を実感し
たように思います。私は対立してい
る考え方に、辛抱強く耳を傾けるよ
うになりました。ライオンズの役員
としての力を磨く上でも、裁判官と
しての仕事は大いに役立ちました」

ダイアン夫人との出会いは、会長
の人生を更に豊かなものにした。二
人を引き合わせたきっかけは、彼の
カプチーノへの愛情だと言えるかも
しれない。車で会議に向かう途中の
こと、彼はカプチーノを飲みながら
時間をつぶそうと、教えていた法科
大学院の教職員ラウンジに立ち寄っ
た。この時、彼は教務課の職員とぶ
つかり、話をする中で、この職員の
息子が掛かっているというある小児

コーリュウ会長の秘密

「ボブはある友人からこの話を聞いたそうです。ある日、彼（ボブ）は小さな町で昼食を食べていました。すると誰かが彼を指さして、次のように言ったのです。『あいつ、ここにやって来る裁判官の一人だよ。俺は奴ら全員の前に立たされたんだ。俺をぶちこんだ裁判官の中で、誰よりも礼儀正しい野郎だよ』スコット・コーリュウ（コーリュウ会長の弟で外科医）

「この言い方は好きではありませんが、ボブは情にもろい人です。とても優しく、気持ちを思いやってくれます。幼い頃、おもちゃが壊れたり、動物が死んでしまったりすると、ボブは確かに、私が真っ先に話をしたいと思う一人でした。彼が私の気持ちを分かってくれると知っていたからで、私たちは一緒に小さなお葬式を上げました」メアリー・キャサリン・シーバー（会長の妹）

「裁判官を務める彼を、私は法廷で観察したものです。その辛抱強さは大変なものでした。以前は裁判官というものを、極めて厳格であるべき存在のように思っていました。しかし、彼を見ているうちに、裁判官でも優しい心を

持てるのだと気付くことが出来ました」ブレント・ピアース（会長の教え子で研修生だった地方検事補）

「ライオンズとして共に旅をする時、彼にはいつも思いやりがありました。私たちはさまざまな事業を目にしましたが、それらは時に涙を浮かべさせます。あまりにも多くの人々が、私たちが持っているような機会を持っていません。それは自分が極めて幸運なのだと感じさせ、手助けをしたいという気持ちを持て強くなり立って来ます。そして思いやりが、彼の仕事やその家族からだけでなく、ライオンズの中からも深く大きく広がっていくのを、私は目の当たりにしてきたのです」ダイアン・コーリュウ（会長の妻）

「父から学んだことは、意欲を持ち続けるということです。誰にでも、壁にぶつかる時があるものです。それを乗り越え続けることが大切です。そうすれば、事態は好転していくでしょう。また、常に前向きでいることです。どんなものにも、良い面はあるのですから」ロバート（ロビー）・コーリュウ4世（会長の息子）

科医院を勧められた。これに従ったコーリュウ会長は、そこで医師助手を務めていたダイアン夫人と出会うことになったのだ。二人は1年の交際を経て結婚した。

「ボブとしばらく交際して分かったのは、私たちの正反対の部分があるように釣り合っていることでした。私た

ちは多くの点で似ていませんが、同じように関心を寄せる物事も数多くありました。デートを重ねるうちに、二人の絶妙なバランスに気付いたのです」

「私たちが子どもたちに教えようとしたのは、幸運な人もいれば、不運な人もいる、ということですよ」と彼は言う。

「賢い人もいれば、そうでない人もいます。必要な財力を豊かに持つ人もいれば、そうでない人もいます。だからこそあらゆる人々を、一人ひとりが持つ才能や能力のために尊重しなければならぬのです」

ライオンとして歩んできた遠い道程を振り返り、コーリュウ会長は驚いたように頭を振る。

「ごく若いライオンだった時、ガバナーの訪問にどれほど胸を躍らせたかを思い出します。『当日はスーツを着なくては』と思ったものです」

しかし、今の彼にとって重要なのは、ライオンズクラブをどれほど遠くまで導いて行けるか、ということである。

「私が望むのは、今年度が終わる時、私たちがライオンとして個々に成長し、組織として成長し、会員を増やし、世界への奉仕を拡大した、と言えることです。100代目の国際会長になろうとは、夢にも思わないことでした。会長になることは私にとって、奉仕によって世界を変えられる機会を意味しています」

身近な存在の国際理事となり 更なる国際協会の発展を

福岡で開催されました第99回国際大会において、国際理事に選出して頂きましたことに対し、心よりお礼申し上げます。

1917年にアメリカ・シカゴにおいて、一人の若き実業家メルビン・ジョーンズによって設立されたライオンズクラブが、2017年に記念すべき100周年を迎えます。

これまでの偉大な歴史と諸先輩の経験を尊重しつつ、ライオンズクラブの更なる発展のために必要な変化と改革を促していきたいと考えております。あらゆるメンバーが感動と共に奉仕活動を行うことが出来るよう、次の通り、不断の決意で邁進してまいります。

1. 老・壮・青の融合を推進し、良き伝統を継承しながら、新たなリーダーの発掘・育成に取り組みます。中でも、豊かな感性を有する

女性会員の力を生かすことが不可欠と考えており、国際協会の進める女性会員推進プログラムを強力に支援していきます。また若手会員はライオンズクラブの未来を約束するカギであり、メンバー相互の交流を促しながら、若手メンバーのモチベーションとリーダーシップを高め、入会5年未満の退会防止に取り組むことを通じて、クラブと協会の活性化を図ってまいります。

2. 多くの皆様にとって、国際協会があまりに遠いものになってはいないでしょうか。国際理事としても、国際協会からの指示を持ち帰るだけでは、日本を含めた多くのメンバーの声に応えることにはなりません。国際協会及び事務局の人脈作りに努め、しっかりと根回しをしながらクラブの声を実現して

ていきます。

3. ライオンズクラブの内部に対しては国際協会・理事会の方針や情報を適切に伝達し、外に対しては知名度を向上させられるよう、協会の広報の改革に努めてまいります。

4. 皆さんから遠い存在の国際理事になつてはならないと、強く感じています。国際理事に就任させて頂いても、多様な皆様と意見交換をしながらライオンズクラブの発展に寄与出来るよう、メンバーの皆様とカジュアルな関係を構築・維持してまいります。

5. ライオンズクラブ創立100年を迎えるに当たり、改めてメルビン・ジョーンズの「我々が求めてきたのは、奉仕の先にある友情である」という言葉を実践し、「We Serve」の下、メンバーの皆様と



なかむらやすひき
■中村泰久

1963年生まれ。中村運送株式会社取締役社長。93年埼玉県・大宮北ライオンズクラブ入会。04年クラブ会長。08年度ゾーン・チェアパーソン。12年度330-C地区ガバナー。

一緒にライオンズクラブを未来永劫発展させる役割を担ってまいります。

今期のボブ・コリユール国際会長
のテーマは「NEW MOUNTAINS
TO CLIMB」次なる山を目指して」
です。

クラブ・メンバーの皆様方も次なる山を目指すために、ライオンズクラブがやりたい奉仕活動ではなく、地域社会が求める奉仕活動を実践しましょう。そしてクラブにおいては良き伝統を継承しつつ、次代を見据えたクラブ運営を推進していきましょう。私はメンバーの皆様と一緒に力を合わせて、ライオンズクラブを発展させていきたいと考えております!!

今後とも皆様からのご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

折り鶴に託して被爆地・広島に届けた「命の尊厳と和」の願い

山田實絏国際会長は任期最後の訪問の地に、被爆地・広島を選んだ。

山田国際会長夫妻は国際理事会のために福岡入りする前日、6月15日に広島市を訪問。松井一實広島市長を表敬訪問した後、広島平和記念公園で献花を行い、更に広島市立中央図書館前の緑地に植樹を行った。

山田国際会長はこの1年間、世界各国への公式訪問で「命の尊厳と和 (Dignity, Harmony, Humanity)」の国際会長テーマを強く訴えてきた。自らのテーマに対する各国ライオンズの反応に大きな手応えを感じたとこ。

「Dignity (尊厳)、Harmony (和)、Humanity (人類愛) のテーマは、全



世界のライオンズにすぐに受け入れられました。過去の国際会長テーマで使われた言葉の中には、文化の違いにより理解しにくいものもありました。しかし私がテーマにした三つの言葉は、人種や文化の違いを超え、これこそがライオンズ・スピリットだと理解してもらえたのです」

そのテーマにある「和」の願いが、広島と結びついた。山田国際会長は松井市長との会談で、広島訪問の理由を次のように説明している。

「国際会長としての私のシンボルは折り鶴です。今年度初め、全世界の745人の地区ガバナーに平和のシンボルである千羽鶴の意味を説明し、折り鶴を折ってもらいました。この

1年間、命の尊厳と和の象徴として国際本部の国際会長室に飾ってきた千羽鶴を、最後にこの広島の地に届けることが、今回の訪問の目的です」

山田国際会長の訪問の19日前、アメリカ合衆国大統領として初めて広島を訪問したバラク・オバマ大統領は、自作の折り鶴4羽を携えていた。原爆資料館でのわずか10分間の見学で、オバマ大統領は被爆により12歳





広島平和記念公園では広島市内のクラブが国際会長夫妻を迎えた



片岡文彰336-C地区ガバナーと共にアメリカハナミズキを植樹した。植樹場所の市立中央図書館入り口付近には、アジア初の国際会長、故村上薫の国際会長テーマ「People at Peace」を刻んだ碑もある。共に平和を希求した日本人の国際会長2人が、広島の地に足跡を残した



広島市役所で松井市長を表敬訪問

で命を落とした佐々木禎子さんの折り鶴に、強い関心を示したと報じられている。禎子さんが闘病の最中、祈りを込めて折った小さな折り鶴だ。山田国際会長も平和への願いを折り鶴に託し、世界140万余のライオンズにメッセージを発信してきた。

広島市長との会談の後、平和祈念公園を訪れた山田国際会長夫妻は、広島市内のライオンズ・メンバーが見守る中、原爆死没者慰霊碑に献花をし、全員で黙祷を捧げた。全世界の地区ガバナーが作った千羽鶴も、山田国際会長の手で慰霊碑に供えられた。（取材／河村智子）

被災者に笑顔と元気を届けた復興支援コンサート

337-E地区（熊本県）は避難生活を送る人たちに少しでも楽しい時間を過ごしてもらおうと、西原村で米空軍太平洋音楽隊復興支援コンサートを開催。会場には被災者やボランティアの笑顔の花が満開となった。

熊 本地震が発生した4月14日から2カ月余り。人口約7千人の西原村では村内5カ所の避難所に530人余りが身を寄せ、60人余りが車中泊を続けていた。6月21日、その西原村の村民体育館で米空軍太平洋音楽隊のジャズバンド、パシフィック・シヨ



地でも度々演奏してきた。今回は、九州ツアーで予定していた熊本市内の会場が地震の影響で使えなくなり、それを知った337-E地区が被災者を励ますコンサートを企画した。会場の体育館には約200席が用意され、村民の他にもボランティアや自治体からの応援要員などが来場

ケースのコンサートが開かれた。長引く避難生活で疲労と不安を募らせる被災者に楽しいひと時を過ごしてもらおうと、337-E地区（桑崎陽彦地区ガバナ）が開いた。横田基地に拠点を置く米空軍太平洋音楽隊は、グレン・ミラー少佐が率いた陸軍航空隊軍楽隊の直系で、音楽を通じた親善が任務。全国各地でコンサートを開き、東日本大震災の被災

した。演奏されたのはグレン・ミラー楽団の代表曲「イン・ザ・ムード」やベニー・グッドマン楽団の「シング・シング・シング」など全11曲。軽快なリズムは聴衆の心も弾ませ、小さな子どももお年寄りも笑顔で手拍子を送った。337-E地区では今回のようなイベント開催の他、被災地の産業復興を応援する活動にも取り組んでいる。コンサート前日の20日には、益城町、御船町、嘉島町など被害の大きかった町の被災者を天草への1泊旅行に招待する活動もスタートした。被災した人々を慰めると共に、風評被害に悩む観光業を応援しようと、御船ライオンズクラブが主催する事業だ。御船ライオンズクラブは天草のパールラインライオンズクラブと姉妹提携を結んでおり、天草の苦境に対しても助けとなる支援事業が出来ないかと模索していた。それを聞いた地区が、





被災者を旅館に招待する計画を提案。宿泊費や貸切バスによる送迎費用は地区が拋出し、天草町旅館組合も割安な宿泊費で部屋を提供する、というアイデアが実現した。天草に招待された被災者は10日間で500人以上に上る。

コンサート開幕前、桑崎ガハナーは337・E地区の支援活動について次のように話していた。

「天草招待では地区がアイデアと資金を提供して御船ライオンズクラブをサポートしました。地区としては今後、各クラブが実施する支援事業を出来る限り後押ししていきます。被災地では既に食料や生活物資のニーズは満たされており、これからは被災者の精神的なケアや産業の復興に向けた支援が必要になります。今日のコンサートで重苦しい気持ちで日々を過ごしておられる被災者の皆さんに元気になってもらえたなら、我々の計画が成功したと言えるでしょう」

西原村のコンサートではジャズ・ナンバーの他、復興支援ソング「花は咲く」など日本の曲も披露された。最後はスマップのヒット曲「世界に一つだけの花」。バンド・メンバーが客席に降り、握手やハイタッチで観客と触れ合いながら、最後には大合唱で会場が一つになった。

終了後、体育館の付属施設に避難しているお年寄りは「こんなのば一回聞いてみたかったと。来て良かったあ。元氣ばもらいました」と言っていた。西原村中学校吹奏楽部の女子部員は「私も今日のコンサートの音に近づけるようにがんばります!」と話していた。「暗くなつてばかりじゃだめ。たまには精いっぱい楽しみたいとね」と明るく話す女性の言葉には、避難生活の困難さがにじんでいた。被災者の気持ちに寄り添う、息の長い支援が求められている。(取材/河村智子)

福祉避難所を拠点に活動する337-E地区支援隊

熊本地震後、被災地の337-E地区（熊本県）では参加会員を募集し支援隊を組織。南阿蘇村から福祉避難所に指定されている会員の旅館を拠点に、支援隊としての活動を展開している。

南

阿蘇村は4月16日の熊本地震本震で、震度6強を観測。阿蘇外輪山の内側にある村に至る所で山のり面が崩落して、流れ出した土砂が道路や橋住宅を押し流した。

この地震では、南阿蘇村だけで15人の方が犠牲となり、崩落した阿蘇大橋周辺にいたと思われる一人は、いまなお行方不明のままとなっている。村の調べでは、被害認定家屋は2300棟以上、そのうち全壊、半壊は600棟以上と見られている。この他、国道57号が阿蘇大橋の崩落と土砂災害により通行止め、県道28号熊本高森線も俵山トンネルの崩落と土砂災害のため通行止めとなっており、村内の生活道路が至る所で損壊している。

また、山の崩落が見られるエリアでは雨が降る度に土砂災害の危険が高まり、大雨が降った6月28日には1658世帯3931人に避難指示、2693世帯6606人に避難勧告が出た。これは村の人口の9割近くとなり、地震から2カ月以上が経っても、多くの住民が二次災害に怯える状況となっている。

その1週間ほど前の6月20日夜半にも阿蘇地方を豪雨が襲い、7月号特集で紹介した、福祉避難所の旅館



332-A地区青年アカデミー委員会の呼び掛けで、南阿蘇村への支援活動が全国のライオンズに広がった

朝陽あさひよう（姪土田裕二／高森ライオンズクラブ）はベランダの排水能力が間に合わず、全館水浸しとなってしまった。

避難者たちは、漏電の恐れがあるためブレーカーを落とし、暴風雨と暗闇の中、フロアの水出しに追われた。

6月27日に、福岡国際大会参加中の有志ライオンズが旅館を訪問し、姪土田の案内で館内を視察したところ、

本館は今回の大雨被害で屋根部分が破損し、1週間経っていても水浸しのままだったという。

姪土田によると、旅館朝陽の福祉避難所としての役割は、当初6月いっぱいと言われていた。が、仮設住宅の建設が計画通りには進んでおらず、約30人の避難者全員が仮設住宅へ移ることが出来るのは9月ぐらい



旅館朝陽の食事は、旅館の好意とボランティアの助力を得て提供されている

になりそうな状況となっている。朝陽に避難している方はお年寄りが多く、地震による被災だけでも大変な中、今回のような豪雨災害が重なること、非常に大きなストレスとなることは想像に難くない。

現在、地元337・E地区では少しでもそうした方たちの力になりたいと、被災地支援隊を組織し、旅館朝陽を拠点に活動を展開している。これまでに熊本デアアマンテ、熊本城東、荒尾、玉名、人吉、錦、八代氷川の各クラブの会員が支援隊に加わり、女性陣は調理場で食事の支度、男性陣

は土田を通じて依頼のあった被災者宅で家の片付けを手伝うなどの活動を実施している。

更に、阿蘇、阿蘇一の宮両クラブのように、ボランティアセンターへ登録して復興を後押ししようという動きがある他、地元の高森ライオンズを通じて「レンジでご飯」など、避難所で簡単に調理出来るものを送る活動も332・A地区（青森県）を中心に広がっている。

南阿蘇村では今後、400〜450棟の仮設住宅の建設が予定されているが、現段階では57棟にとどまっている。また水源の被害も大きく、いまだ断水状態が続く600世帯については、復旧のめどが立っていない。更に、年間650万人から700万人あった観光客が、今はほとんどゼロに等しい状態だ。阿蘇大橋や俵山トンネルという主要アクセスの崩壊が最大のネックで、その復旧には10年以上かかるとも言われている。その上、現在迂回路となっている山道はこれまで冬になると凍結のため閉鎖されていた道で、主要道路の復旧が遅れると、南阿蘇は冬には陸の孤島となりかねない状況にある。

337・E地区支援隊や全国のアライトチームの支援がまだまだ必要だ。

（取材／鈴木秀晃）



難民支援に力を結集する ライオンズ

ト

ルコやヨーロッパで活動するライオンズは、シリアやイラクからの難民数百万人に対して、大規模な支援活動を行っている。LCIFは60万ドルの交付金を拠出して、避難所の設営や食料品・衣服の支給、教育支援、通訳サポートや社会統合プログラムの提供など多岐にわたるライオンズクラブの活動をサポートし、支援の輪の広がりに貢献している。

トルコにおける難民支援活動は、主にシリアからの難民270万人の受け入れを支援、LCIFからの4件の難民救済支援交付金を元に活動を行っている。以下は各地区の交付金額と活動内容。

- 118・R地区 (6万ドル) 50以上のライオンズクラブが参加し、毛布、下着

タオル、衛生用品、飲料水などの物資を準備。2千個のリュックサックに詰め込む作業が終わった後は、トルコ沿岸警備隊の協力を得て、海上で救助された難民に提供される。

- 118・E地区 (2万6千ドル)
 - 学校の設立や栄養管理・衛生環境の整備など、継続的なサポートを2カ月間にわたり実施。また、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) とパートナーシップを組むNGOと共に、コミュニティセンターの空いている部屋を利用し、初等教育やコンピューター学習の提供を行った。

- 118・K地区 (6万1300ドル) 500人分のシエルターの建設、教室・トイレが設置され、衣類、食料、衛生用品、救急キットなどが倉庫に備蓄された。人口が過密化した難民キャンプでは、多くの難民が屋外での生活を強いられている。生活環境を整備し、教育の場を与えることは重要な支援活動の一つである。
- 118・U地区 (6万ドル) シリアとイラクの国境に近いこの地区では、2千人の難民

家族を対象に、子どもや妊婦に対する支援活動を実施。非常食、下着、毛布、子ども用の靴やおむつ、救急キット、衛生用品などが支給されている。また今後は暖房器具付きのプレハブ住宅を10棟提供する予定。

ヨーロッパのライオンズ多くの難民にとって、トルコはヨーロッパへの単なる通過点に過ぎない。ギリシャ、オランダ、スロベニアなどのヨーロッパ各国もまたLCIFから交付金を受け、難民救済活動を行っている。

- 117・A地区/ギリシャ (10万1000ドル) ロードス島の難民センターで生活する難民・移民の数は2015年8月から延べ6千人を超え、施設は既に収容人数のキャパシティをオーバーしている。ライオンズクラブは屋外トイレと発電機を設置、今後はテントや屋外用のヒーター、寝袋、毛布などの生活必需品を提供する予定だ。
- 110・AN地区/オランダ (1万5千ドル) 靴、下着

洗面用具やその他生活用品を購入、アムステルダムでの4カ所の緊急シエルターで暮らす難民1200人へ提供する。

- 129地区/スロベニア (1万ドル) 子どもの栄養価の高い食品や衛生用品、毛布、コートなど2千個の防災キットを準備、地元赤十字の協力の下、難民が入国するエリアに配給センターを置き、彼らに直接物資を提供する予定だ。

◆ これらの奉仕活動を通じて、ライオンズクラブは現代社会が直面している人道危機に積極的に介入し、今後も継続して支援活動を行っていく。

あなたのクラブ、地区、複合地区が難民救済に関心があれば、ライオンズクラブ国際協会 (LCI) に連絡を。地域の救済プロジェクトに対する寄付や交付金のリクエストに関しては、LCIFへ問い合わせを。

LCI、LCIF共に、今後もライオンズの人道支援プロジェクトを継続的にサポートしていく。

(エリック・マルグレス)

LIONS NEWS CASSETTE

2016年人道主義大賞は国境なき医師団に

2016年ライオンズ人道主義大賞は国際NGO国境なき医師団が受賞し、福岡国際大会の最終日6月28日の第3回総会（閉会式）で授賞式が行われた。国境なき医師団は1971年、赤十字の医療支援活動のためナイジェリア内戦の戦地に派遣されたフランスの医師を中心に設立された。世界各地の紛争地や感染症がまん延する地域、自然災害の被災地などで緊急医療援助活動を行い、命の危機に瀕している人々に救いの手を差し伸べている。世界70の国と地域で医師や看護師など3万6千人のスタッフが活動。その人道援助活動が高く評価され、1999年にノーベル平和賞を受賞した。今回の授賞式で



は山田實絨国際会長から国境なき医師団日本の渥美智晶副団長に、クリスタルのライオン像と賞金25万ドルが授与された。

福岡国際大会投票結果

福岡国際大会最終日の6月28日、代議員による国際会長、国際第1、第2、第3副会長、国際理事（改選定数17人）の選挙と国際会則及び付則改正案の賛否投票が行われた。今大会の代議員数は4122人、このうち日本の代議員数は767人で最多、次いでアメリカが571人、

韓国が565人、インドが519人だった。第3回総会（閉会式）で報告された代議員投票の結果は以下の通り。

■2016・17年度国際会長…ボブ・コーリュ（アメリカ・テネシー州ミルトン）

■2016・17年度国際第1副会長…ナレシユ・アガワル（インド・デリー）

■2016・17年度国際第2副会長…グッドラソン・ビョート・イングバクター（アイスランド・ガルザバイル）

■2016・17年度国際第3副会長…ジュンユル・チョイ（韓国・釜山）

■2016・18年国際理事17人中、OSEAL地域の国際理事

マグネット・リン（台湾／300複合地区）
中村泰久（日本／330複合地区）
ジェブ・ユ（韓国／356複合地区）

国際会則及び付則改正案

■第1項…プログラムや奉仕事業への資金利用をより柔軟に行えるようにするため、緊急積立基金に関わる規定を削除する改正案【可決】

■第2項…運営役員職表記に関する改正案【可決】

■第3項…委員会名を「PR委員会」から「マーケティング・コミュニケーション委員会」へと変更する改正案【可決】

2016・17年度国際理事会の構成

6月28日、福岡国際大会の閉会直後に2016・17年度最初の国際理事会が開かれ、各委員

会の構成が発表された。日本の国際理事会構成員の所属委員会は次の通り。

山田實紘前国際会長（岐阜県・美濃加茂ライオンズクラブ）は執行委員会と長期計画委員会、日本の2年目理事、安井克之国際理事（北海道・旭川平和ライオンズクラブ）は奉仕事業委員会（副委員長）、佐藤宜之国際理事（大分ライオンズクラブ）は大会委員会、1年目理事の中村泰久国際理事（埼玉県・大宮北ライオンズクラブ）は地区及びクラブ行政委員会に所属することが決まった。

2016・17年度LCIF理事会の構成

2015・16年度国際会長の任期を終えた山田實紘前国際会長は、2016・17年度ライオンズクラブ国際財団（LCIF）の理事長に就任した。LCIF理事会の構成員は理事長を含む22人で、日本からは、会則地域V（東洋・東南アジア）からの選任枠に栢森新治理事（愛知県・名古屋ウエストライオンズクラブ）が、会員一人当たりの寄付額が2番目に多い国からの選任枠に鈴木誓男理事（愛知県・豊田ルネッサンスライオンズクラブ）が選任され、就任した。

2016・17年度八複合地区ガバナ協議会議長連絡会議

6月13日、東京・八重洲の日本ライオンズ事務所で開催された。次期協議会議長引き継ぎ会議が開催された。会議では次年度議長連絡会議の世話人に安田克樹336複合地区議長（336・C地区ガバナ）、副世話人に柏崎昭朗331複合地区議長（331

・A地区ガバナ）、井出孝330複合地区議長（330・B地区ガバナ）が互選された。

一般社団法人日本ライオンズ創立社員総会

2015・16年度複合地区ガバナ協議会議長連絡会議が進めてきた一般社団法人日本ライオンズの創立社員総会が、6月13日、東京・内幸町の帝国ホテルで開催された。総会には社員となる日本の2016・17年度地区ガバナ・エレクトが出席し、「一般社団法人日本ライオンズ設立承認の件」「新理事・監事選出の件」について審議。それぞれの案件について出席者



間で討議をした後、各議案は採決によって原案通り可決された。会議に先立ち、山田實紘国際会長からあいさつがあり、「国際会長を輩出し、会員増強で成果を上げている日本のライオンズに世界が注目をしている。この機に、日本ライオンズとしてまとまって一つの方向へ向かってもらいたい」と、法人化によって日本が今後更に発展していくことへ期待が示された。

2015・16年度末世界の会員数

国際本部集計によると、2015・16年度末の世界の会員数は、前年度末から1547人の純増で137万9490人となった。今年3月末には140万人を、4月及び5月末に141万人を超えて、年度末会員数のピークとなった95・96年度の142万5310人に迫ることが期待されたが、6月の大幅な減少により140万人を下回る結果となった。会則地域別では七つの地域の中で会員数最多のアメリカ及びその領域が32万5109人（7893人純減）、次いで日本が属する東洋・東南アジア（OSEAL）が30万9763人（4567人純増）、インド・南アジア・アフリカ及び中東（ISAME）が30万8107人（6442人純増）で、昨年度末にISAMEを抜いたOSEALと、アメリカとの差が縮んでいる。OSEAL内では昨年度大きく会員数を伸ばした日本が今年度は806人純減（会員数12万316人）、韓国が289人純減（7万7580人）、台湾が増減なし（4万3478人）となったのを始め全体に低

調だったのに対し、中国は6498人純増（3万8163人）と著しい成長を続けている。

国別では会員数最多のアメリカが7857人純減（31万7914人）だったが、第2位インドは875人純増（22万6870人）だった（第3位日本、第4位韓国は前述の通り）。国別で特筆すべきはネパールで、今年度は149クラブが結成され、年度末でクラブ数708クラブ、会員数1万9824人で期首から5285人増となった。同国は過去10年間、毎年千人純増のペースで成長を続けている。15年4月のネパール地震後の奉仕活動を通じて会員の意欲が更に高まり、今年度の大幅な躍進につながった。

2015・16年度末日本の会員数

2015・16年度末の日本の会員数は12万316人で期首から806人純減となった（国際本部集計）。今年5月末で5574人の純増と順調に増加していたが、年度末6月に多数の退会者を出し減少に転じた。年度末の増減には各地区間で大きな開きが出た。複合地区別では八複合地区のうち純増が4地区、純減が4地区で、336複合地区が616人純増（会員数1万6327人）だったのに対し、334複合地区は1337人純減（2万3629人）となった。準地区では、純増を遂げたのは35準地区中17地区で、332複合地区では全6地区が純増。会員数の伸び率が最も高かったのは、474人純増（4821人）で期首から10%増の333・E地区だった。

また、日本のクラブ数は新結成14クラブ、解

散39クラブで、25クラブの純減となった。本誌巻末（58頁）の「ライオンズクラブ分布図」では、準地区別会員数を掲載。

332・A地区がフードドライブで熊本地震の被災地支援

【情報提供：岩瀬道春2015・16年度332・A地区幹事】

332・A地区（青森県／祐川和人2015・16年度地区ガバナール）は、5月15日に開催された第62回地区年次大会式典後の晩餐会場にてフードドライブ事業を行い、地区内各クラブが米・缶詰・即席麺・飲み物等の食料を持ち寄った。アメリカ発祥のフードドライブは、家庭で余っている食料を持ち寄り地域の福祉施設などに届ける活動。地区は100周年記念奉仕チャレンジの四つの奉仕分野の一つである食料支援に取り組みうと企画し、当初は集まった食料を社会福祉協議会を通じて恵まれない方々へ寄付する予定だった。しかし、4月に発生した熊本地震を受けて寄贈先を急ぎ変更し、被災地への救援物資とすることにした。遠く離れた被災地からの情報が少ない中、337・C地区（佐賀県・長崎県）の山脇栄次キャビネット幹事に現地状況を問い合わせた。それによれば、都市部へは物資が行き届いているようだが、郡部の避難所の中には食料品など一部の物資が足りていない所があり、その中でも阿蘇地方で物資が不足しているとの情報を頂いた。そして、高森ライオンズクラブの理事清興をご紹介頂き、集まった食料を救援物資として同クラブへ託すこととした。地区内各クラブにも送付先を事前



に知らせ、年次大会前に物資の用意が出来たクラブは直接被災地へ送付するようにし、早めの支援も実施した。年次大会の1週間前には、当地区の弘前東奥ライオンズクラブや青森ZEROライオンズクラブが炊き出し等の被災地支援活動を行っていたため、現地で活動した会員から阿蘇地方の現況情報を聞き、早めに対応することが出来た。年次大会当日は多くの物資が集まり、翌日午前に被災地へ向けて発送した。被災した方々にどこまでお役に立てたのか不安だらけだったが、現地から届いた写真を見た時には少しだけホッとした。今後とも被災地との連絡を密にし、いち早い復興を願って活動をしていきたいと思う。

2016・17年度国際会長及びLCIF理事長の公式訪問

2016・17年度国際会長及びLCIF理事長の公式訪問は次の通り開催される予定。

8月24日(水)・・・山田實紘LCIF理事長公式訪問並びにセミナー／愛知県名古屋市長

9月7日(水)・・・ボブ・コリニュー国際会長公式訪問／東京都新宿

会議録

■第4回複合地区ーT委員長長連絡会議(5月30日) ①ウェブ会議システム「GoToMeet」によるMD間接続確認②ウェブ会議開催申込み(ゴト)③ServannaとMyLCIについて④青少年健全アクティビティの全国コンペティション開催への協力について⑤次年度への申し送り事項

■第5回複合地区会則委員長連絡会議(6月8日) ①前回会議要録の確認②第62回各複合地区年次大会決議の確認③2016年福岡国際大会上程の国際会則及び付則改正案の確認④ライオンズ必携第56版改定の検討⑤ライオンズ必携第56版の頒布⑥次年度への引き継ぎ⑦その他

■第11回ライオン誌日本語版委員会(6月9日) ①ライオン誌日本語版の運営②事務所統合委員会③6月号(5月20日見本)9万7300部発行)出来④7月号記事内容の確認⑤8月号以降台割(案)⑥ライオン誌デジタル化⑦その他

■第11回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議(6月13日) ①一般社団法人日本ライオンズ②

第99回国際大会(福岡)参加支援③次年度各行

事への参加支援④MYLCIとサバンナシステム

の今後について⑤ライオン誌ウェブ移行ス

ケジュールについて⑥各支援計画の確認(ケニ

ヤ学校建設支援、メルビン・ジョーンズ墓所補

修)⑦LCIセカンド・センチュリアンバサ

ダー(第2世紀親善大使)について⑧LCIF

からのお知らせ(2016・17LCIF国際理

事会名簿)⑨各種報告⑩2020東京オリンピ

ック、パラリンピックへの継続支援⑪その他

■現・次期協議会議長引き継ぎ会議(6月13

日)【現議長連絡会・申し送り事項】①一般社

団法人日本ライオンズ②第99回国際大会(福

岡)参加支援③次年度各行事への参加支援④M

yLCIとサバンナシステムの今後について

⑤ライオン誌ウェブ移行スケジュールについ

て⑥各支援計画の確認(ケニヤ学校建設支援、

メルビン・ジョーンズ墓所補修)⑦LCIセカ

ンド・センチュリアンバサダー(第2世紀親

善大使)について⑧LCIFからのお知らせ

(2016・17LCIF国際理事会名簿)⑨各

種報告⑩2020東京オリンピック、パラリン

ピックへの継続支援【次期議長の会議】⑪20

16・17議長連絡会議世話人の互選⑫各種連絡

会議旅費規程

解散／合併クラブ

■解散クラブ

6月11東京御茶の水／東京築地市場／東京すずしろ／埼玉県・妻沼／狭山グリーン／北海道・

京極／青森県・むつ脇野沢／福島県・本郷白鳳

(合併)／新潟県・西蒲リバティ／栃木県・宇

都宮和光／岐阜県・明智／富山ちゅうりつぷ

(合併)／福井WEB／兵庫県・宝塚王仁／伊

丹有岡／神戸元町／大阪府・大東中央／兵庫

県・高砂の松／徳島県・三加茂／徳島西／徳島

シニア／島根県・伯太／大分県・臼杵石仏／沖

縄県・那覇南

■合併クラブ(合併前のクラブ)

福島県・会津美里(会津高田／本郷白鳳)

富山雷鳥(富山雷鳥／富山ちゅうりつぷ)

訃報

■元国際役員

杉山田昌次(京都)

6月2日死去。77歳。05年度35・C地区ガバ

ナー。

■献眼者

4月11日大和利嘉一(鳥根県・邑智大和)

5月11日長岡登志子(静岡県・裾野)／ライオン池谷

喜幸(静岡県・御殿場)

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。



ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

クラブ例会

ク

ラブ例会はライオンの生活において常に中心的な役割を果たし、会員が大いにその意義を認める親交と喜びをもたらしています。それは国際協会の創設当初から、視覚障害者への支援から災害援助の提供に至るまで、さまざまな奉仕事業の出发点となってきました。例会が時代と共に変化しても、その焦点は常に奉仕にありました。

1920年代、30年代の草創期には、例会にはいたずらや大がかりなユーモアが交えられていました。悪ふざけの達人テール・ツイスターが会場を闊歩し、ネクタイを切り取ったり、会員の頭上で中身を水に入れ替えた卵の殻を割ったりしたものです。

第二次世界大戦後、ライオンズは世界中に拡大して多様な文化が取り入れられ、80年代には女性会員も加わります。初期の数十年間を特徴付けた荒っぽいユーモアは、会員が多様化するにつれて失われていきました。今日の例会は効率化が進み、悪ふざけも減っていますが、合唱、交流、ゲーム、ちょっとしたお笑いなどはやはり豊かに盛り込まれています。アメリカ・ウエストバージニア州のアルムクリークライオンズクラブの会

員たちは61年の結成以来、毎回「峠の我が家 (Home on the Range)」の合唱で例会を始めます。カナダ・ブリティッシュコロンビア州のチリワック・ステラーズジェイライオンズクラブの例会ではゲームで資金を集めることがあります。床に置いた便座に「ルーニー」と



デンマーク・ホルベックライオンズクラブの夏恒例、ガーデン例会

いうニックネームで知られる「カナダド硬貨を投げ込む」というゲームです。ライオンズクラブが各国に広がるに伴い、例会も各地の習慣が反映されたものへ変化していきました。アジア、ヨーロッパ、南米、オーストラリアで

行われる例会は、それぞれ少し違った特色を帯びています。スイスのクラブはあまり歌いませんが、日本やインドネシアでは歌はつきものです。香港のクラブの例会には伝統的なライオンズの歌だけでなく、中国式の祈りも盛り込まれています。近年はインターネットと会員の多忙さが、例会に影響を及ぼしてきました。時間を短縮して日常的な情報はネットで提供することも可能になり、直接顔を合わせずにオンライン例会を行うクラブもあります。

自由な時間が乏しい世の中でも、例会はライオンズ社会の中心であり続けています。「会員たちは職場で忙しい1日を終えた後でも例会に出掛けていきますが、それは自分より大きな何かとつながっているという帰属意識を、例会が与えてくれるからです」と、マサチューセッツ大学の心理学名誉教授ウィリアム・バークウィッツはライオン誌のインタビューに答えています。

例会は今後も変わっていくことになるでしょう。しかし、会員にとってその価値は不変です。ウェイン・マデン元国際会長は次のように述べています。「ライオンであることにこれほど満足感を得られるのは、親密で気が置けない、同じ価値観を持った仲間と共に奉仕出来るからに他なりません」

読者から——6月号

■ひたむきなクラブ運営

クラブ・レポートで取り上げられた九十九里ライオンズクラブのアクティビティである九十九里ビーチレースも、「モットーは『楽しくなければダメ』だから作業もまるで大人の泥遊び」と紹介された肥後東ライオンズクラブのアクティビティも、本人たちがのめり込んで実施しているのが会員の増加につながっているのだと思います。真面目だけでやっていると続かないものです。とても参考になりました。

また、特集で取り上げられた洞爺ライオンズクラブも弘前東奥ライオンズクラブも、ひたむきさのレベルが段違いです。ぬるま湯に漬かっているような雰囲気ではなく、一人ひとりが、自分自身で出来ることにトライしているようです。そんなことをしてみたい人たちが集まってくるから活気が出るのでしょうね。クラブの調和を乱すような人がいても、それをものともしないエネルギーを感じます。

クラブ改革により、ノンアルコール例会をして、二次会で親

読者プレゼント

■福岡国際大会記念グッズを読者10人に



巻頭特集で紹介したように、6月24日から28日まで、第99回ライオンズクラブ国際大会が福岡市で開催されました。そのホスト委員会から提供された大会記念グッズ（ネクタイ、タオル、博多織の名刺入れなど）をセットにして、読者10人にプレゼントします。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「福岡国際大会」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は8月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所・ライオン誌
*オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン (www.thelion-mag.jp) の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

睦を深めているというメリハリのある運営も参考になります。クラブが元氣な証拠ですね。

福島東ライオンズクラブ ●尾形直二

■活性化の示唆に富んだ内容

6月号の特集「クラブを元氣にする秘訣」を読みました。洞爺ライオンズクラブの、噴火に見舞われながら、会員は減っても、地域のため、次代を担う子どもたちのための奉仕活動は続けていく姿がライオンズクラブの原点だと感じました。

再入会者の活躍ぶりにも感激しました。金銭的、時間的な負担を軽くすることで、経営者中

心のクラブから、サラリーマンや女性、年金生活者など幅広い層が入会出来るクラブに生まれ変わる改革。会員同士の親密なコミュニケーションも大切です。クラブの歴史を取めた記念誌の発刊。努力の結晶です。クラブにとって示唆に富んだ物語が満載で、感銘を受けました。

北海道・サッポロシニアライオンズクラブ ●森一男

■熊本の復興を願っています

4月14日から3カ月が経過しようとしています。熊本の皆様にはお見舞い申し上げます。復

旧復興には時間が掛かると思いますが、一日一日を大切に、前を向いて歩んで行ってください。私たちは5年前に東日本大震災を経験しました。実際に体験した人でないと分からない苦労がたくさんあると思います。少しずつ進むしかありません。がんばってください。

福島松川ライオンズクラブ ●風間良一



「会議参加者のタイプ」 増田善裕（千葉県・松戸中央ライオンズ）

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

団体に参加すれば、必ず会議があるわけで、いろいろなタイプの参加者を見て、そこにロバート議事規則を徹底させるには、人物観察をし、どのようにして効果的な動かし方をするかが一番の問題になる。

その人物を大別すると、

●無関心型

●質問型

など、である。

まず論争を好むタイプは、論争がしたいというだけで口論するタイプである。だから出発は必ず反対の立場をとる。しかし、全て反対ではなく、一言言わないと気が済まない型で

いてもらうというと思う。

イエスマンは、会議員に選んだ側にも責任がある。会議の原則は発言することであり、イエスマンと無関心型については、選んだことが問題だと思われる。

何でも知っている知識型にも

あり、発言を許し、ある程度論拠をもって説得すれば、分かりのいい会議員となる。このタイプは議長型であり、議長の近くに座って

に押し出す人と、聞かれれば答えるという人だ。知識にも、本を読んだだけと実践型とがあるわけで、資料を正確にしておかないと、会議がこの人の方向へ動いてしまう。

議長の近くに座っても、お互いに親近感を持つ努力をする。

次に、全てを否定し

大物と言われるタイプ。会議員の中に大物タイプに常に情報を流したり、意見を伺ったりする側近がいるわけで、議長をつぶすのは訳のないことぐらいに思っている人である。このよう

- 論争を好むタイプ
- 全て否定してから話し始めるタイプ
- 全て肯定のイエスマン
- 何でも知っている知識型
- おしゃべり型
- はにかみ型
- 大物と言われるタイプ



てから話すタイプ。ある種の役を経験し、この件に関してはエキスパートであるが、なかなか信念を曲げない。経験から割り出して話すので説得力もあるが、やはり協調性に欠ける部分がある。前もって会長が電話するか、議事録で議事内容を理解してお

な人は、クラブを二分するぐらいの力を持っていて、更に会長経験者ともなれば発言にも重みがあり、それが10年20年となる

なってしまう。英断としても、一度は理事会の構成員から外さないと、いつまでも陰口をきかれるようになる。よくある○○天皇であり、○○帝王というわけである。

このように、いろいろな個性人格を持った人が、一つの問題に取り組むわけなので、会議の進まないこと、決裁出来ないことが、多く生まれてくるのは当然と言えよう。

議長は、会議員を無視することは出来ない。しかし、議長にとって自分の席の両側は死角となつて、顔も見なくていいし、無視することも場合によっては出来る。助言を求めるとは、例えが一番苦手な人を隣にも、例えば一番苦手な人を隣に置くと、親近感を持たざるを得ないようになってくるわけである。会長すなわち議長職にある以上、忍耐と理解は義務の一つであり、議長がイエスマンにならないよう、決定権の有効な使い方を期待したい。

ライオン誌例会のスヌメ
— 次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■初の女性国際会長誕生へ

福岡国際大会で行われた選挙で、アイスランドのグッドラソン・イングバドター元国際理事が、2016・17年度国際第2副会長に当選し、2年後に初の女性国際会長が誕生することが確実になった。

会員資格を男性に限定していた国際会則が改正されて女性会員が認められたのは、87年の台北国際大会だ。その後91年に初の女性地区ガバナーが、99年に

9月号予告

特集 大人の社会科学見学
盲導犬編

視覚障害者の自立した生活を助けるパートナーとして活躍する盲導犬は、どのようにして育成されるのか？盲導犬候補の子犬を育てるパピーウォーカーの会員と、北海道盲導犬協会の協力で、育成の現場を見学する。



— 次の例会ですぐ使える情報

クイズ de 例会

〈第1問〉福岡市で開かれた国際大会は第何回目の大会？

- a. 第99回 b. 第100回
- c. 第101回

〈第2問〉2016-17年度国際会長の出身地はアメリカのどの州？

- a. イリノイ州 b. テネシー州
- c. アリゾナ州

〈第3問〉2016-17年度国際第3副会長の出身国は？

- a. 日本 b. 香港 c. 韓国

〈第4問〉2016年ライオンズ人道主義大賞を受賞したのは？

- a. セーブ・ザ・チルドレン
- b. 国境なき医師団
- c. アムネスティ・インターナショナル

〈第5問〉2017年国際大会が開かれるライオンズ発祥の地は？

- a. ラスベガス
- b. ニューヨーク
- c. シカゴ

★回答は54%下



1969・1967

1969年8月27日、松竹映画『男はつらいよ』の第1作が公開された。また、「フーテンの寅さん」こと車寅次郎を演じた渥美清が亡くなったのは96年8月4日で、この8月で20年が経つ。シリーズ第1作の観客動員数は54万3千人を記録。30作目を超えた時点で、世界最長の映画シリーズとしてギネスブックに掲載され、渥美清の死去により幕を閉じるまでの作品数は48作を数えた。

「男はつらいよ」第1作公開の前月、69年7月2日から5日には、アジアで初めてとなる第52回国際大会が東京で開催されている。海外から約1万5千人、

日本国内からは約2万人の会員と家族が登録。東京都千代田区の日本武道館で開かれた第1回総会(開会式)には昭和天皇・皇后陛下が臨席された。天皇陛下は、「(略)この大会が、ライオンズの崇高な理想の下に、よくその成果を収め、会員相互の友情と信愛がますます深まると共に、相協力して、世界の平和と人類の幸福に貢献することを希望してやみません」とお言葉を述べられた。





EXECUTIVE OFFICERS

President Robert E. Corlew, Milton, Tennessee, United States; Immediate Past President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; First Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India; Second Vice President Gudrun Bjort Yngvadottir, Gardabaer, Iceland; Third Vice President Jung-Yeol Choi, Pusan, Republic of Korea. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

DIRECTORS

Second year directors

Melvin K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birganj, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillip, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo León, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

First year directors

Bruce Beck, Palisade, Minnesota, USA; Tony Benbow, Vermont South, Australia; K. Dhanabalan, Erode, India; Luiz Geraldo Matheus Figueira, Brasilia, Brazil; Markus Flaaming, Espoo, Finland; Elisabeth Haderer, Overveen, the Netherlands; Magnet Lin, Taipei, Taiwan; Sam H. Lindsey, Jr., Hilltop Lakes, Texas, USA; N. Alan Lundgren, Scottsdale, Arizona, USA; Joyce Middleton, Bridgewater, Massachusetts, USA; Nicolin Carol Moore, Trinidad and Tobago; Yasuhisa Nakamura, Saitama, Japan; Aruna Abhay Oswal, Gujrat, India; Vijay Kumar Raju Vegesna, Visakhapatnam, India; Elien van Dille, Ronse, Belgium; Jennifer Ware, Rapid River, Michigan, USA; Jaepung Yoo, Cheongju, Korea.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20か国語で発行される-英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会

- 国際理事 安井 克之
- 国際理事 佐藤 宜之
- 国際理事 中村 泰久
- 委員長 塚田 雅二 (333複合地区)
- 副委員長 井村 一男 (337複合地区)
- 委員 久津間康允 (330複合地区)
- 委員 中嶋 辛 (331複合地区)
- 委員 佐藤 義則 (332複合地区)
- 委員 石井 博之 (334複合地区)
- 委員 中村 房雄 (335複合地区)
- 委員 寺越 慎一 (336複合地区)

日本ライオンズ事務所・ライオン誌
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777 FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編集室

ライオン誌記事の活用を



ライオン誌
日本語版委員
●
佐藤義則
(宮城県・蔵王)

- ① 国際会長メッセージは国際本部配信の指定記事で必ず掲載
- ② SCENEはアクティビティ写真1点と見出しで活動内容が理解出来るように工夫
- ③ クラブ・レポートには取材記事

- ④ 3分間ライオンズはライオンズの基本を再確認する解説記事
- ⑤ FOUNDATION IMPACTは国際本部が配信するL C I F 交付金事業の指定記事
- ⑥ 特集は読者の関心の高い話題やクラブ活動に寄与するテーマを取り上げる
- ⑦ 国際理事だよりは日本出身の理事が交替で発信
- ⑧ ライオンズ・ニュース・カセットは地区・複合地区・国際レベル

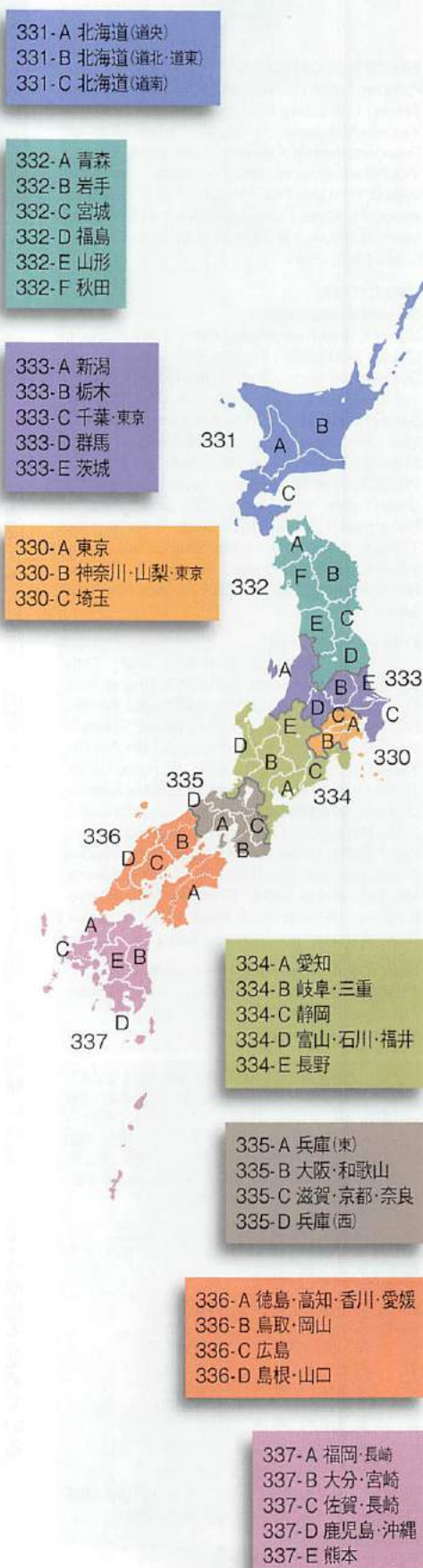
- ⑨ 東日本大震災復興だよりは被災地の現状報告、3・11リレーは被災会員が震災の語り部となる
- ⑩ 獅子吼は会員のエッセーや提言の投稿を掲載。国際協会の基本理念にそぐわない内容や誹謗中傷は不採用とする
- ⑪ ふるさと探訪は全国各地のクラブのふるさとを紹介
- ⑫ READERS ROOMではライオン誌サポーターなど本誌読者の声を紹介している
- ⑬ 編集室はライオン誌日本語版委員が交替で執筆

- ⑭ ライオン誌閲覧率は明確には分らないが、各レベルで中心的に活動しているメンバーの閲覧率は高いと推測される。私は地区GMTコーディネーターを担当しており、昨年度末のクラブ会長セミナーの講師を務めたが、その内容は全てライオン誌の掲載記事を資料にした。普段あまり読まない会員も、会長やゾーン・チェアパーソンなどの役職に就任すると熱心に活用するのではないかと思う。
- ⑮ 会員の皆さんに本誌の記事を活用して頂くため、現在、1958年の創刊号からのバックナンバーをオンラインで閲覧及び検索出来るよう準備を進めている。

日本ライオンズクラブ分布図

2016.6.30 eMMR ServannA報告による

地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	200	6,403	-22	4,623	1,780 (27.8)	1,846	17	602	1,244
330-B	166	4,499	-270	3,778	721 (16.0)	485	-115	134	351
330-C	85	2,351	-82	1,907	444 (18.9)	378	-36	116	262
330計	451	13,253	-374	10,308	2,945 (22.2)	2,709	-134	852	1,857
331-A	73	2,734	-36	2,205	529 (19.3)	459	-41	82	377
331-B	85	2,742	63	2,201	541 (19.7)	481	48	66	415
331-C	51	1,922	-31	1,564	358 (18.6)	332	26	77	255
331計	209	7,398	-4	5,970	1,428 (19.3)	1,272	33	225	1,047
332-A	64	2,123	42	1,647	476 (22.4)	378	47	81	297
332-B	53	2,416	1	1,579	837 (34.6)	853	58	145	708
332-C	68	1,889	69	1,336	553 (29.3)	525	42	114	411
332-D	72	2,490	78	1,917	573 (23.0)	527	53	108	419
332-E	56	2,034	11	1,594	440 (21.6)	385	21	63	322
332-F	45	1,400	1	1,020	380 (27.1)	327	14	58	269
332計	358	12,352	202	9,093	3,259 (26.4)	2,995	235	569	2,426
333-A	74	3,227	-81	2,550	677 (21.0)	642	-68	163	479
333-B	49	1,742	179	1,092	650 (37.3)	585	170	146	439
333-C	133	3,539	-241	2,709	830 (23.5)	583	-138	180	403
333-D	54	2,446	120	1,754	692 (28.3)	726	86	175	551
333-E	80	4,821	474	3,109	1,712 (35.5)	1,985	367	544	1,441
333計	390	15,775	451	11,214	4,561 (28.9)	4,521	417	1,208	3,313
334-A	120	6,887	-159	4,531	2,356 (34.2)	2,421	-38	488	1,933
334-B	78	4,770	-619	3,226	1,544 (32.4)	1,751	-531	380	1,371
334-C	80	3,481	-296	2,851	630 (18.1)	572	-212	81	491
334-D	97	5,805	-374	3,871	1,934 (33.3)	2,069	-320	377	1,692
334-E	52	2,686	111	1,882	804 (29.9)	836	89	222	614
334計	427	23,629	-1,337	16,361	7,268 (30.8)	7,649	-1,012	1,548	6,101
335-A	81	2,141	-15	1,679	462 (21.6)	222	37	31	191
335-B	170	6,617	72	4,824	1,793 (27.1)	1,523	95	308	1,215
335-C	119	4,049	-70	3,385	664 (16.4)	411	21	95	316
335-D	64	2,043	45	1,579	464 (22.7)	333	68	77	256
335計	434	14,850	32	11,467	3,383 (22.8)	2,489	221	511	1,978
336-A	146	6,105	-86	4,621	1,484 (24.3)	1,101	-28	204	897
336-B	95	3,392	274	2,681	711 (21.0)	498	286	80	418
336-C	95	3,442	264	2,938	504 (14.5)	348	310	67	281
336-D	94	3,391	167	2,800	591 (17.4)	424	224	40	384
336計	430	16,330	619	13,040	3,290 (20.1)	2,371	792	391	1,980
337-A	116	5,487	-221	3,954	1,533 (27.9)	1,239	-143	275	964
337-B	69	2,893	-96	2,131	762 (26.3)	762	-76	169	593
337-C	82	4,233	-109	2,781	1,452 (34.3)	1,533	-18	445	1,088
337-D	77	2,351	-70	2,020	331 (14.1)	188	-4	38	150
337-E	58	1,766	103	1,447	319 (18.1)	222	84	65	157
337計	402	16,730	-393	12,333	4,397 (26.3)	3,944	-157	992	2,952
総計	3,101	120,317	-804	89,786	30,531 (25.4)	27,950	395	6,296	21,654



世界のライオンズ
2016.6.30 国際協会集計

国または領域……212 クラブ数……46,746
会員数……1,379,490 会員数増減……1,547

WHERE THERE'S A NEED
THERE'S A LION

SINCE 1917



奉仕の歴史を奉仕で祝う 100周年記念奉仕チャレンジ

国際協会創設100周年祭を、ライオンズの神髄である奉仕によって祝おうと、2014年度から「100周年記念奉仕チャレンジ」がスタートしました。「青少年の奉仕を促そう」「視力を分かち合おう」「食料支援をしよう」「環境を保護しよう」の四つの奉仕分野で各クラブが事業を行い、それぞれ2500万人、計1億人に奉仕しようという挑戦です。実施期間は14年7月から18年6月まで、4年度にわたって続けられることになります。



YOUTH

2500万人に貢献

青少年の参加を促そう - 地域の青少年を助ける奉仕事業を行ったり、あるいはレオや地域の青少年と一緒に奉仕を行ってもらい、次世代のボランティアを育てることも出来ます。



VISION

2500万人に貢献

視力を分かち合おう - 目の不自由な子どもや隣人の役に立つ事業を計画して、視力の贈り物をしましょう。



HUNGER

2500万人に貢献

食料支援をしよう - フードドライブ（食品回収）や炊き出し支援活動などを通じて、家庭や地域の健康を支えます。

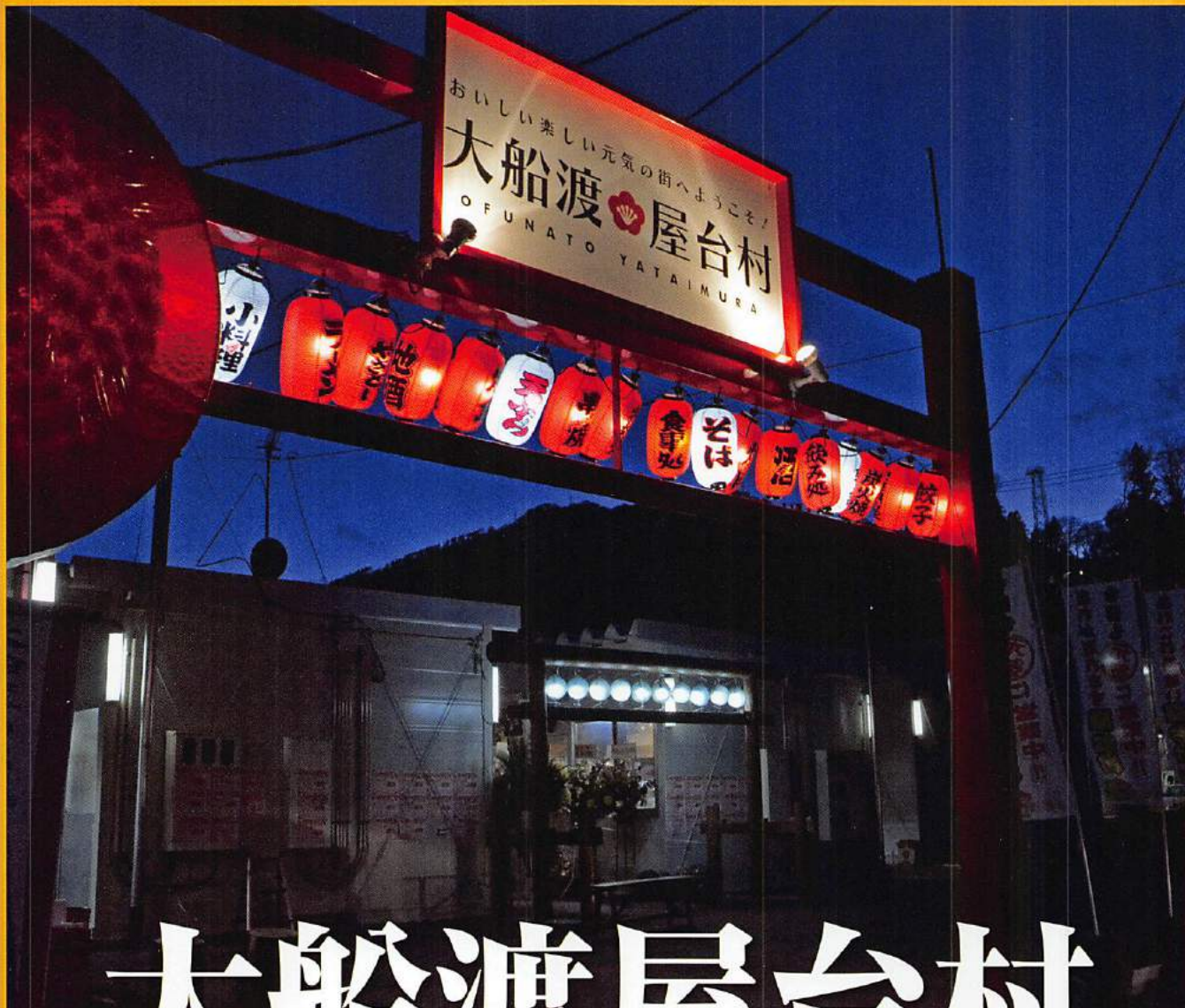


ENVIRONMENT

2500万人に貢献

環境を保護しよう - 環境を保護・美化する事業を企画し、皆にとって住みよい町づくりを目指しましょう。

ライオンズクラブ国際協会創設100周年のテーマは、「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」。地域のニーズに応えるアクティビティで、100周年祭を祝う記念奉仕チャレンジに参加しましょう。



大船渡屋台村

- Aoi (小料理店) ●青い麦 (居酒屋) ●神菜月 (居酒屋) ●麵処 がんばっべし (ラーメン店) ●かあさんのおもてなし 喜楽 (おでん) ●Mstyle GOMA。(居酒屋) ●鮎・季節料理 ささき (寿司店) ●豚骨拉麺 鮫ちゃんラーメン (ラーメン店) ●七厘長屋 (四元豚料理) ●陣 (やきとり) ●ちよっと寄り処 早 (小料理店) ●なにわ屋 (お好み焼き) ●串 BLUE CORD (創作串揚げ料理) ●のみ処 槇 (小料理店) ●山福 (鮎・天ぷら) ●ゆめんちゅ (沖縄料理) ●もっさり酒場 らんぷ亭 (もっさり酒場) ●濱DINING わいTable (居酒屋) ●田舎料理 かあさん (田舎料理)

大船渡屋台村

岩手県大船渡市大船渡町字野々田19-1

<http://www.5502710.com/>

<https://www.facebook.com/253382548052072>

大船渡屋台村はLCIFの東日本大震災指定交付金を受けました



Lions Clubs International
FOUNDATION